

平成 27 年度
認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業
実施報告書

平成 28 年 3 月
日野市健康福祉部高齢福祉課

1. 事業の概要	
(1) 事業の目的	1
(2) 背景.....	1
(3) 事業の位置付け.....	1
(4) 事業の全体像.....	3
(5) これまでの事業展開.....	4
2. 実施体制と事業推進方策	
(1) 事業推進体制.....	7
(2) 事業推進方策.....	8
(3) 進捗管理手法.....	8
(4) 認知症対策推進会議の開催.....	9
(5) 専門部会の開催.....	11
3. 専門部会による事業の推進	
(1) 「認知症を知る月間」の開催.....	19
1) 事業概要.....	19
2) 事業実施結果.....	21
(2) 認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備.....	25
1) 認知症家族介護者支援講座.....	27
2) 認知症カフェ.....	33
3) 家族ニーズの把握.....	35
4) 認知症地域資源情報の検討.....	35
(3) 一般市民に対する認知症や虐待防止等の理解促進.....	37
1) 認知症市民啓発講座.....	39
2) 認知症サポーター養成講座.....	46
3) キャラバン・メイト連絡会.....	52
4) 虐待防止啓発.....	52
(4) 関係機関ネットワークの構築.....	54
1) 多職種連携研修.....	56
2) 認知症徘徊高齢者SOSネットワークの見直し検討.....	60
3) 認知症高齢者を見守る仕組みの検討.....	61
4. 事業推進の成果と課題	
(1) 事業評価.....	65

(2) 次年度の方向性.....	67
------------------	----

【資料編】

(1) 日野市の虐待受付状況.....	70
(2) 日野市の徘徊対応状況.....	71
(3) 平成 27 年度までの取組み.....	73
(4) 年間スケジュール.....	76
(5) イベント等のちらし.....	78
(6) 認知症サポーター養成講座 開催状況詳細.....	84

1. 事業の概要

(1) 事業の目的

本事業は、高齢者が認知症であっても尊厳を持って地域で生活することができるよう、本人や家族を地域で支える体制づくりを進めることを目的としています。

(2) 背景

認知症という病気について、以前と比べて頻繁に耳にするようになりました。厚生労働省の発表によると、平成 22 年の段階で、要介護認定申請を受けている「認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上（日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる方）」の高齢者数は全国で 280 万人と、65 歳以上人口の 9.5% に達し、15 年後の 2025 年には 470 万人に達するとしています。

日野市においても、長寿化の影響により、認知症高齢者や、加齢による心身機能の衰弱により虐待などの権利侵害を受けやすい状況や環境で生活している高齢者が増加傾向にあり、今後更に増えることが予測されています。

本市では、認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、平成 18 年度より、認知症高齢者支援及び高齢者虐待防止対策について、東京都福祉保健区市町村包括補助事業の補助を受けて事業の展開を図ってきました。

認知症家族介護者交流会や認知症サポーター養成講座などから始まった本事業も、平成 27 年度からは、国の示す新オレンジプラン（認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すために 7 つの柱立てからなる認知症施策推進総合戦略）を踏まえ、一般市民による支援の輪を広げるための市民啓発、認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりのために「認知症を知る月間」の開催や認知症高齢者を見守る仕組みの検討、認知症の人やその家族の視点を重視するために家族ニーズの把握など幅広い事業展開をしています。

(3) 事業の位置付け

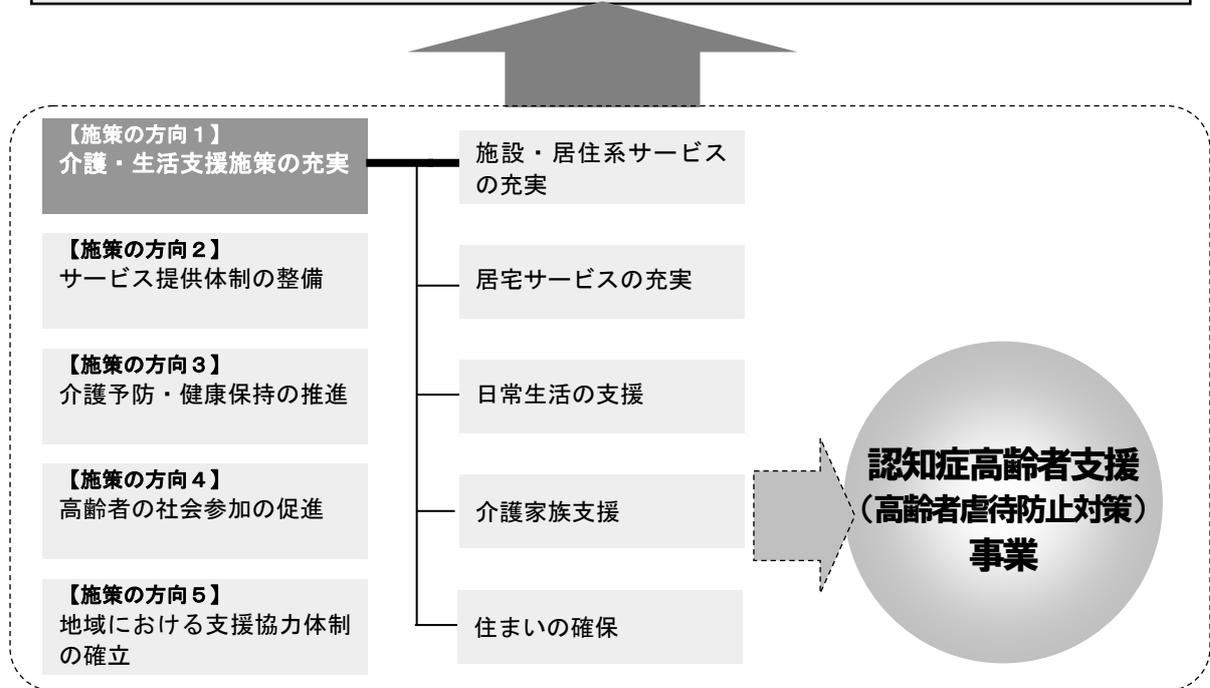
高齢者福祉施策を総合的に推進するため、『日野市介護保険事業計画』、『シルバー日野人安心いきいきプラン』、一人ひとりが自身の状況に応じた住まいで、自分らしく安心して生活することができる環境づくりを進めるため、『高齢者居住安定確保計画』の 3 つの計画を統合した『日野市高齢者福祉総合計画』を推進してきました。

また、平成 27 年度から『第 6 期介護保険事業計画』が始まり、地域包括ケア実現のための方向性の継承および在宅医療介護連携等の取組みを本格化しながら、高齢者福祉・保健施策、高齢者の住宅政策を統合的に定める『第 2 期日野市高齢者福祉総合計画』を策定しました。

本計画において「認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業」は、施策体系における「施策の方向 1：介護・生活支援施策の充実」の「介護家族支援」を実現する事業となっています。また、リーディングプランとして「認知症高齢者と家族を支える仕組みづく

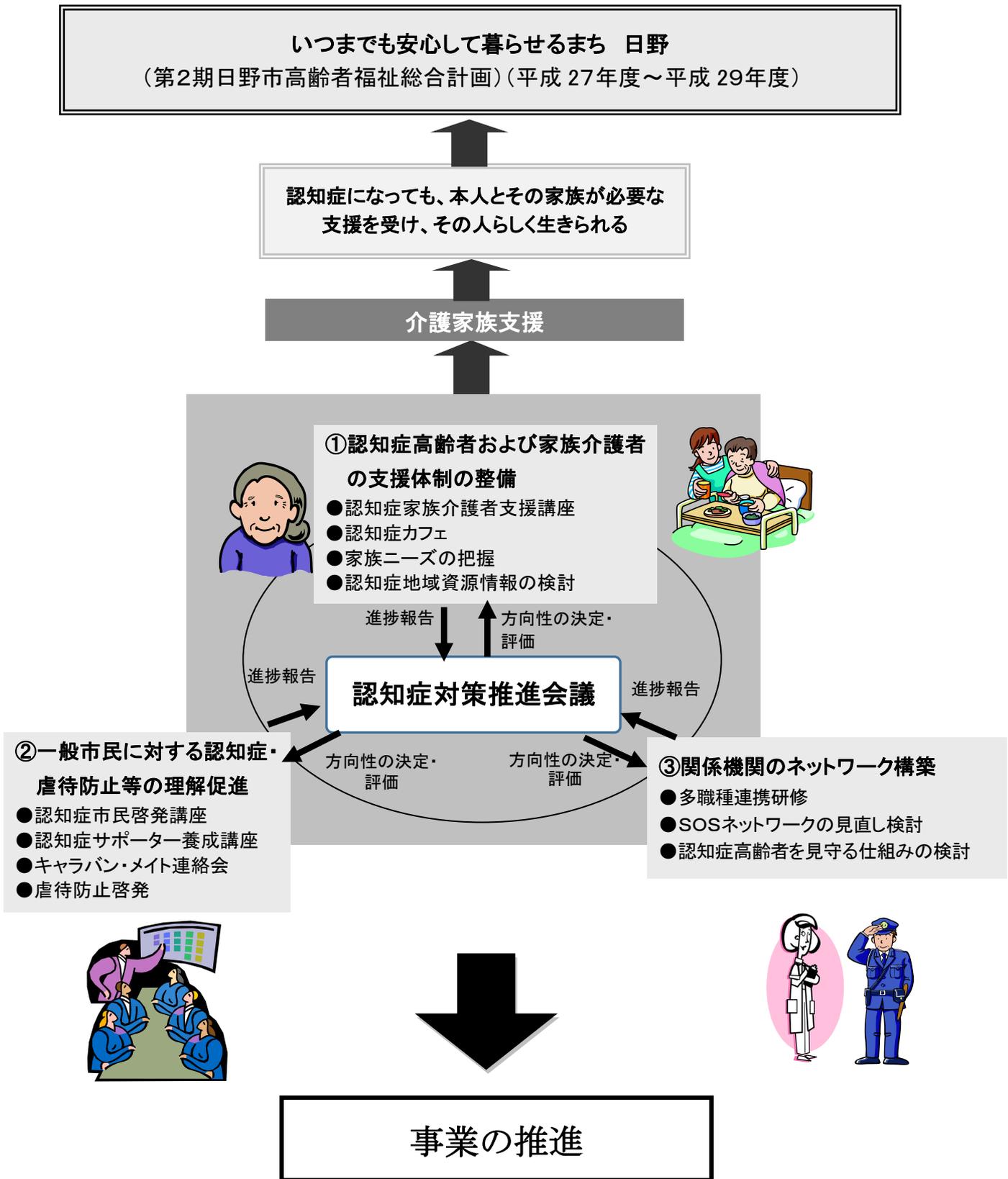
り」が位置づけられており、とりわけ国の示す新オレンジプランにおいても、早期発見等認知症対策の充実、認知症への医療サービスや施設の充実、地域における認知症支援の仕組みの構築を進めることをうたっており、本事業においてこれらを具体的に推進していきます。

いつまでも安心して暮らせるまち 日野
(第2期日野市高齢者福祉総合計画)(平成27年度～平成29年度)



(4) 事業の全体像

本事業は、「介護家族支援」を実現する事業として、次の①～③の3つの柱で構成されています。地域包括支援センターとの連携のもと柱ごとに取組みを展開します。



(5) これまでの事業展開

平成 18 年度より、認知症高齢者支援と高齢者虐待防止対策を目的とした個別の事業として展開されてきましたが、平成 22 年度より、認知症高齢者と高齢者虐待の相互関連性などを踏まえ、1つの事業として統合されました。

	取組み	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27
認知症 高齢者 支援	①認知症家族介護者交流会(専門相談会)		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②認知症サポーター養成講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③認知症サポーターステップアップ講座			○							○
	④高齢者SOSネットワーク構築に向けた取組み			○	○				○		○
	⑤認知症予防啓発パンフレット				○				○		○
	⑥認知症地域資源マップの作成						○	○	○	○	○
	⑦認知症家族介護者支援講座						○	○	○	○	○
	⑧認知症啓発講座						○	○	○	○	○
	⑨介護サービス従事者研修(※1)						○	○	○	○	○
	⑩関係機関連絡会						○	○	○	○	
	⑪認知症高齢者支援・高齢者虐待防止推進会議(※2)						○	○	○	○	○
	⑫認知症ケアパスの作成										○
	⑬認知症の早期発見・治療の仕組みづくりの検討										
高齢者 虐待防止 対策	① 高齢者虐待防止にかかわる検討・対策会議		○	○	○						
	②高齢者虐待防止勉強会		○							○	
	③関係者研修		○	○	○						
	④ケアプラン指導研修・専門相談会		○	○							
	⑤虐待防止啓発講演会		○	○				○			
	⑥虐待防止啓発								○	○	○
	⑦高齢者虐待に関する啓発パンフレットの作成		○							○	○
	⑧日野市高齢者虐待対応・防止マニュアルの作成等	○	○	○	○				○	○	○

※1 H26 より多職種連携研修に名称・役割とも変更。

※2 H27 より認知症対策推進会議に名称・役割とも変更。

詳細は、資料編「(3) 平成 27 年度までの取組み」を参照

2. 実施体制と事業推進方策

(1) 事業推進体制

本事業は、事業全体の運営方針の検討、進捗管理、評価の共有を行う認知症対策推進会議および推進会議で示された方針や目標を踏まえた事業の企画、運営、実施を行う専門部会の2部構成で進めています。

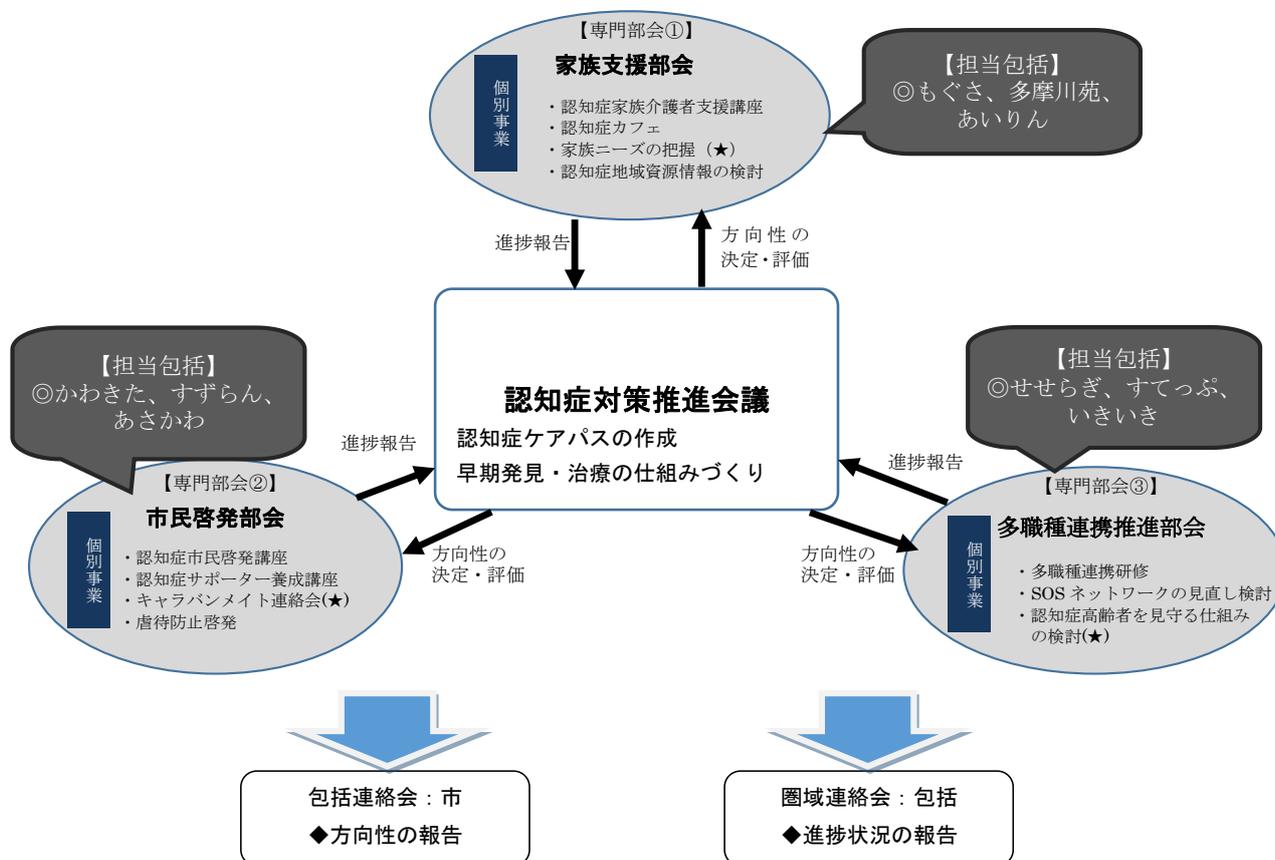
専門部会は、「認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備」、「一般市民に対する認知症・虐待防止等の理解促進」、「関係機関ネットワークの構築」という3つの取組みの柱ごとに、それぞれ「家族支援部会」、「市民啓発部会」、「多職種連携推進部会」を設置しました。平成27年度は、各部会の担当として、3つの地域包括支援センターを割り振りました。

また、各柱に2～4つの取組みを配置するとともに、各取組みの柱において、「重点的な取組み」を設定しました。

■ 認知症対策推進会議・専門部会の役割

- ① 認知症対策推進会議：事業全体の運営方針、進捗管理、評価の共有・調整
- ② 専門部会：認知症対策推進会議での意見を踏まえた各事業の企画、運営、実施

(★) 重点的な取組み



(2) 事業推進方策

事業全体としての目的・方向性の確認や進捗管理の必要性が課題として認識されたことから、平成 24 年度より「高齢者福祉総合計画」における本事業の位置付けを確認し、これを踏まえた各取組みの体系化を行いました。平成 27 年度は、達成度を分かりやすくするため、「目指す姿（対象と意図）」および「成果指標」の設置により最終評価にて進捗管理を行うこととしました。

さらに平成 26 年度の事業展開から抽出された各取組みの「課題」への対応についても評価を行いました。

(3) 進捗管理手法

平成 27 年度は、これまでの評価シートの改善を図り「『誰が』『どうなる状態』」を目指すのか、という目的の明確化を行った上で、成果指標を設定し、下図のような事業評価シートを用いて、部会ごとの対象と意図の総合評価を行うための成果指標や事業のチェックを行いました。

これら成果指標に対し、前年度実績のあるものについては、それらも踏まえながら評価を行い、「十分な成果が得られた」場合は「A」、「おおむね成果が得られた」場合は「B」、「期待した成果が得られなかった」場合は「C」という評価軸で事業評価を行いました。

◆ 評価シート

認知症高齢者（高齢者虐待防止対策）事業 評価シート			
作成年月日 H28年 月 日			
方針	認知症や虐待の問題を抱える高齢者が尊厳をもって地域で生活することができるよう、本人や家族を地域で支える体制づくりをさらに進めます		
取組みの柱	1 認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備		
担当部会	家族支援部会	記入者	
1 取組みのねらい			
1) 取組みの柱の「対象」と「意図」			
主な対象	(具体的な対象)	意図 (対象がどのような状態になっているか)	
家族	・本人 ・子ども (同居・別居) ・親・孫 ・配偶者 ・兄弟、姉妹 ・義理の息子、その他	(家族で) 悩みや不安を抱え込まずに安心感を持って、地域で見守られながら本人や家族が生活している	
2) 取組みの「対象」と「意図」			
取組み (取組みの柱の意図を実現するための手段)	対象	意図	
1) 認知症家族介護者支援講座	家族	認知症に関する理解を深めて、安心感を得られている	
2) 認知症カフェ【※新規】	家族・本人・地域住民	孤立感を感じずに介護に前向きになっている。	
3) 家族ニーズの把握【※新規】	家族	家族ニーズを把握し、共通の課題を抽出することで、施策に反映できないか検討されている。	
4) 認知症地域資源情報の改訂	家族・本人	認知症地域資源の情報を容易に入手し、必要な支援を得られている	
2 成果指標			
取組み	成果指標	単位	前年度実績 H26 実績値 H27最終
1) ①	家族介護者支援講座で「理解を深められた」と答えた割合	%	— 74.6%
2) ②	認知症カフェの参加者数	人	14 26
3) ③	把握した家族のニーズから抽出した共通課題	個	— 6
4) ④	認知症地域資源情報 (簡易版) の完成、発行部数	部	— —

事業評価におけるチェックリスト一覧			
■平成28年度からの課題			
①「家族介護者支援講座」 ・平成26年度アンケート結果を参考に現場で関心の高いテーマと、今後ますます増える認知症対策に沿ったテーマの設定 ・家族介護者支援講座等に家族介護者交流会の参加を行ったが、種別に参加しなかったのは未検証 ・ニーズに合った講座企画の検証として今後も講座終了後のアンケートにて満足度・理解度の項目を設定 ②「家族介護者交流会」 ・各圏域での交流会で具体的な要望がそんなに多く聞かれないため、今後共通アンケート等の実施も検討 ③「認知症カフェ」 ・より多くの方 (新規) に参加していただけるよう広報の方法を工夫・検討 (ケアマネや専門医を通じての告知) ・圏域ごとの報告書で数値を把握し、各圏域の意識を高める ④「認知症地域資源情報」 ・「認知症ケアパス」との関連も考慮し、再度見直し必要 1) 目的の明確化、2) 客観的な情報の掲載、3) 使いやすさの向上 (インデックスの詳細化、資源のマップ化) ・頻繁な更新は不要とし、使い勝手のいい冊子タイプの検討			
1) 認知症家族介護者支援講座			
対象	家族	意図	認知症に関する理解を深めて、安心感を得られている
■チェックリスト (視点、課題) 【※下記は、H26認知症家族介護者支援講座の視点、課題 (参考)】			
1. 家族が参加している課題に沿ったテーマ、他のテーマ設定など、現場の声が企画に反映されているか			
2. テーマ設定理由が明確か			
3. 交流会参加への都実なつながりが行われているか			
4. 講座効果は現れているか (アンケートで確認)			
2) 認知症カフェ 【※新規】			
対象	家族・本人	意図	孤立感を感じずに介護に前向きになっている。
■チェックリスト (視点、課題)			
1. 参加しやすしい環境を設定できているか (時間、場所、職員配置、動線)			
2. 本人が参加しやすいか (参加スタッフの感想を拾う)			
3. 家族同士で交流を深められたか (アンケートで把握)			
3) 家族ニーズの把握 【※新規】			
対象	家族	意図	家族ニーズを把握し、共通の課題を抽出することで、施策に反映できないか検討されている。
■チェックリスト (視点、課題)			
1. 多くの家族介護者の声を拾えたかどうか。			
4) 認知症地域資源情報の活用 【※新規】			
対象	家族・本人	意図	認知症地域資源の情報を容易に入手し、必要な支援を得られている
■チェックリスト (視点、課題)			
1. 支援者が使いやすいか			
2. 認知症ケアパスとの関連を考慮したか			

(4) 認知症対策推進会議の開催

平成27年度は、認知症対策推進会議を12回開催しました。年間スケジュールに基づき、認知症ケアパス、早期診断・早期対応の体制・仕組みなどに関する検討事項について活発な意見交換がなされるよう、ワークショップ形式を取り入れました。また、各部会の今年度の成果を来年度につなげるため、評価シートを用いて事業の目的の達成状況を共有しました。

	開催日時等	主な議題
第1回	平成27年4月30日(木) 9:30~11:30 市役所会議室	1. 日野市における地域包括ケアシステムの構築~目指す姿の検討~ (※ワークショップ) 2. 全体スケジュールの検討
第2回	平成27年5月19日(火) 9:30~11:30 市役所会議室	1. 認知症高齢者支援事業、取組みの柱の目指す姿(対象と意図) (※ワークショップ)
第3回	平成27年6月23日(火) 9:30~11:30 市役所会議室	1. 認知症ケアパスの検討(社会資源シートの精査) (※ワークショップ)
第4回	平成27年7月28日(火) 9:30~11:30 市役所会議室	1. 認知症ケアパス検討(社会資源シートの精査) (※ワークショップ)
第5回	平成27年8月20日(木) 13:30~15:30 市役所会議室	1. 認知症ケアパス検討(ケアパスの見せ方の検討) (※ワークショップ)
第6回	平成27年9月29日(火) 9:30~11:30 市役所会議室	1. 認知症ケアパス検討(認知症ケアパスの見せ方) (※ワークショップ)
第7回	平成27年10月27日(火) 9:30~11:30 マザアス日野地域交流スペース	1. ケアパス(案)に対する意見交換 (※各機関から意見収集)
第8回	平成27年11月24日(火) 9:30~11:30 市役所会議室	2. 早期発見・治療のプロセスの分析 (※ワークショップ)
第9回	平成27年12月22日(火) 9:30~11:30 市役所会議室	1. 各地域包括支援センターの取組みに対する検討

	開催日時等	主な議題
第10回	平成28年1月26日(火) 9:30~11:30 市役所会議室	1. DASC(認知症総合アセスメントツール)研修
第11回	平成28年2月23日(火) 9:30~11:30 市役所会議室	1. 平成27年度認知症高齢者支援(高齢者虐待防止対策)事業評価
第12回	平成28年3月22日(火) 9:30~11:30 市役所会議室	1. 認知症ケアパスの効果検証と活用方法の検討 2. 早期発見・治療の仕組みづくりの検討

■ 認知症対策推進会議の様子



(5) 専門部会の開催

事業の「取組みの柱」ごとに3つの専門部会を設置し、各部会で担当する取組みの「対象」と「意図」（＝目的）に沿った実施方針の決定および取組みの企画運営を行いました。

1) 専門部会の取組み

専門部会の開催実績は、家族支援部会 16 回、市民啓発部会 15 回、多職種連携推進部会 11 回となっています。

2) 専門部会の開催詳細

① 家族支援部会

担当地域包括支援センター	もぐさ◎、多摩川苑、あいりん	※◎：部会長
取組みの柱	認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備	
取組み	①認知症家族介護者支援講座 ②認知症カフェ ③家族ニーズの把握 ④認知症地域資源情報の改訂	

【開催実績：計 16 回】

	開催日時等	主な議題
第1回	平成27年5月15日（金） 14：00～16：30 市役所会議室	（市民啓発部会と合同部会） 1. 「認知症を知る月間」について副題と内容の検討 2. 今後のスケジュール
第2回	平成27年6月2日（火） 14：00～16：30 市役所会議室	1. 事業評価シートの検討 2. 「認知症を知る月間」の副題の再検討 3. 「認知症を知る月間」のイベント内容の検討
第3回	平成27年6月15日（月） 14：00～16：30 市役所会議室	1. 「認知症を知る月間」の構想の検討
第4回	平成27年6月22日（月） 14：00～16：30 市役所会議室	（市民啓発部会と合同部会） 1. 「認知症を知る月間」のイベント内容の大枠決定
第5回	平成27年7月1日（水） 14：00～17：00 市役所会議室	1 「認知症を知る月間」イベント詳細の検討（認知症カフェ・家族介護者支援講座）

	開催日時等	主な議題
第6回	平成27年7月8日(水) 10:00~12:00 市役所会議室	1. 家族ニーズの調査内容・方法の検討
第7回	平成27年7月27日(月) 14:00~16:30 市役所会議室	1. 認知症を知る月間のイベント(認知症カフェ、認知症介護支援講座)の当日の役割、流れの検討
第8回	平成27年8月4日(火) 14:00~16:30 市役所会議室	1. 認知症を知る月間のイベント(認知症カフェ、認知症介護支援講座)の当日の役割、流れの詳細検討 2. 事業所マップパネルの内容検討
第9回	平成27年8月19日(水) 14:00~15:30 市役所会議室	1. 認知症を知る月間のイベント(認知症カフェ、認知症介護支援講座)の当日の役割、流れの詳細検討
第10回	平成27年8月27日(木) 14:00~15:30 市役所会議室	1. 認知症を知る月間のイベント(認知症カフェ、認知症介護支援講座)の当日の役割、流れの最終確認 2. 事業所マップパネルの内容最終確認
第11回	平成27年10月21日(木) 14:00~15:30 市役所会議室	1. 平成27年度家族支援部会のスケジュール確認 2. 評価シートの進捗確認・作成 3. 認知症地域資源情報の見直しに関する今後の方針の確認 4. 家族ニーズの共通課題の抽出
第12回	平成27年11月19日(木) 9:30~11:00 市役所会議室	1. 認知症地域資源情報の、今後の方針の最終決定 2. 今年度、家族支援部会のスケジュールの確認
第13回	平成27年12月8日(火) 14:00~16:00 市役所会議室	1. 抽出済みの家族支援施策における共通課題より施策の検討
第14回	平成28年1月22日(金) 14:00~16:00 市役所会議室	1. 平成28年度家族支援部会検討事項の検討 2. 平成27年度評価シートの完成 3. 平成28年度の家族介護者支援講座の内容の検討

	開催日時等	主な議題
第15回	平成27年2月19日(金) 10:00~12:00 市役所会議室	1. 家族ニーズ課題次年度検討事項の決定 2. 平成28年度検討事項の最終確認
第16回	平成28年3月15日(火) 14:00~16:00 市役所会議室	1. 平成28年度家族支援部会メンバーへの引継ぎ 2. 平成28年度「認知症を知る月間」の意見出し

② 市民啓発部会

担当地域包括支援センター	かわきた◎、すずらん、あさかわ	※◎：部会長
取組みの柱	一般市民に対する認知症・虐待防止等の理解促進	
取組み	①認知症市民啓発講座 ②認知症サポーター養成講座 ③キャラバン・メイト連絡会 ④虐待防止啓発	

【開催実績：計15回】

	開催日時等	主な議題
第1回	平成27年5月15日(金) 14:00~16:30 市役所会議室	(家族支援部会と合同部会) 1. 「認知症を知る月間」について副題と内容の検討 2. 今後のスケジュール
第2回	平成27年6月2日(火) 14:00~16:30 市役所会議室	(家族支援部会と合同部会) 1. 「認知症を知る月間」の副題の再検討 2. 「認知症を知る月間」のイベント内容の検討
第3回	平成27年6月11日(木) 14:00~16:30 市役所会議室	1. 評価シートの作成 2. サポーター養成講座申込書・アンケートの検討 3. 認知症を知る月間のイベント内容の検討(サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座)
第4回	平成27年6月18日(木) 14:00~16:30 市役所会議室	1. 平成27年度事業評価シートの作成 2. サポーター養成講座の申込書・アンケートの検討 3. 「認知症を知る月間」の認知症サポーターステップアップ講座の内容検討

	開催日時等	主な議題
第5回	平成27年6月22日(月) 14:00~16:30 市役所会議室	(家族支援部会と合同部会) 1. 「認知症を知る月間」のイベント内容の大枠決定
第6回	平成27年7月3日(金) 14:00~16:30 市役所会議室	1. 「認知症を知る月間」イベント内容の検討(市民啓発講座・認知症サポーターステップアップ講座) 2. 「認知症を知る月間」月間各イベントの申込方法、PR方法の検討 3. 認知症サポーター養成講座のアンケート内容の検討
第7回	平成27年7月29日(水) 14:00~16:30 市役所会議室	1. 「認知症を知る月間」当日のタイムスケジュール・役割分担の詳細検討 2. パネル展の概要の検討 3. 市民への月間のPR方法の検討
第8回	平成27年8月5日(水) 14:00~16:30 市役所会議室	1. 「認知症を知る月間」当日のタイムスケジュール・役割分担の詳細検討 2. パネル展の概要の決定
第9回	平成27年8月17日(月) 14:00~16:30 市役所会議室	1. 「認知症を知る月間」当日のタイムスケジュール・役割分担 2. パネル展の概要の検討
第10回	平成27年8月26日(水) 14:00~16:30 市役所会議室	1. 「認知症を知る月間」当日のタイムスケジュール・役割分担の最終確認 2. パネル展について最終確認 3. 第2回市民啓発講座の経過報告
第11回	平成27年10月23日(金) 14:00~16:30 市役所会議室	1. 「認知症を知る月間」の評価・反省 2. 産業まつりの啓発ブースの内容決定 3. 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の実施体制の検討 4. キャラバン・メイト連絡会の概要の検討
第12回	平成27年12月11日(金) 14:00~16:30 市役所会議室	1. 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の実施 2. キャラバン・メイト連絡会、キャラバン・メイト養成研修の検討 3. 平成28年度「認知症を知る月間」の構想の検討

	開催日時等	主な議題
第13回	平成28年1月25日(月) 14:00~16:00 市役所会議室	1. 平成27年度事業評価シートの作成 2. 平成28年度「認知症を知る月間」の構想・実施内容の検討 3. 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の実施体制の検討 4. 市職員向けの認知症サポーター養成講座振り返り
第14回	平成28年2月18日(木) 10:00~12:00 市役所会議室	1. 平成28年度「認知症を知る月間」の構想・実施内容の検討 2. 来年度部会検討内容の確認 3. 認知症サポーター養成講座・ステップアップ講座の実施体制の検討
第15回	平成28年3月14日(月) 10:00~12:00 市役所会議室	1. 平成28年度市民啓発部会メンバーへの引継ぎ 2. 平成28年度「認知症を知る月間」の構想・実施内容の検討



合同部会の様子

③多職連携推進部会

担当地域包括支援センター	せせらぎ◎、すてっぷ、いきいき	※◎：部会長
取組みの柱	関係機関ネットワークの構築	
取組み	①多職種連携研修 ② SOSネットワークの見直し検討 ③認知症高齢者を見守る仕組みの検討	

【開催実績：計11回】

	開催日時等	主な議題
第1回	平成27年6月1日(月) 14:00~16:00 市役所会議室	1. 評価シートの作成 2. 第1回多職種連携研修の検討

	開催日時等	主な議題
第2回	平成27年6月16日(火) 14:00~16:00 市役所会議室	1. 第1回多職種連携研修の検討 2. 徘徊高齢者検索マニュアルの改訂の検討
第3回	平成27年7月9日(木) 14:00~16:00 市役所会議室	1. 平成27年第1回多職種連携研修の検討 2. 徘徊高齢者検索マニュアルの改訂の検討
第4回	平成27年9月16日(水) 14:30~16:30 市役所会議室	1. 徘徊高齢者検索マニュアルの改訂の検討
第5回	平成27年10月22日(木) 14:00~16:00 市役所会議室	1. 第1回多職種連携研修の評価 2. 徘徊高齢者検索マニュアルの改訂の検討 3. 第2回多職種連携研修の検討
第6回	平成27年11月18日(水) 9:30~11:30 市役所会議室	1. 第2回多職種連携研修の検討 2. 認知症高齢者を見守る仕組みの検討
第7回	平成27年12月14日(月) 14:00~16:00 市役所会議室	1. 第2回多職種連携研修の検討 2. 認知症高齢者を見守る仕組みの検討
第8回	平成28年1月13日(水) 10:30~12:00 市役所会議室	1. 第2回多職種連携研修の検討 2. 認知症高齢者を見守る仕組みの検討
第9回	平成28年2月3日(水) 9:30~11:45 市役所会議室	1. 第2回多職種連携研修の評価 2. 認知症高齢者見守りを見守る仕組みの検討 3. 平成27年度部会の取組みの評価
第10回	平成28年3月10日(木) 15:00~17:00 市役所会議室	1. 認知症高齢者見守りを見守る仕組みの検討 2. 徘徊高齢者検索マニュアルの改訂の検討
第11回	平成28年3月23日(水) 9:30~11:30 市役所会議室	1. 認知症高齢者見守りを見守る仕組みの検討 2. 徘徊高齢者検索マニュアルの改訂の検討

3. 専門部会による事業の推進

(1) 「認知症を知る月間」の開催

1) 事業概要

本事業では、これまで認知症家族介護者を対象とした「家族介護者支援講座」、一般市民を対象とした「市民啓発講座」、「認知症サポーター養成講座」、「認知症徘徊高齢者SOSネットワーク」、介護サービス従事者を対象とした「介護サービス従事者研修」など、対象別に様々な取組みを進めてきました。

平成 26 年度には、認知症に対する若年層や無関心層など多様な市民への効果的な啓発、また、認知症に関する各種取組みの相乗効果を高めることを目的として、初の取組みとして「認知症を知る月間」を開催しました。取組みはおおむね好評であり、参加者より継続を求める声も多数挙げられたことから、平成 27 年度も開催いたしました。

平成 27 年度は、平成 26 年度における目的を引き継ぎながら、平成 27 年 1 月に発表された「新オレンジプラン」(p 1 参照)を踏まえ、「本人家族からの思いを直接市民に届け、認知症を身近に感じてもらう」ことを目的に加えるとともに、同プランで示された取組みの方向性と整合する形で開催しました。

【目的】

- ①本人家族からのメッセージ（思い）を直接市民に届け、認知症を身近に感じてもらう。
- ②若い層、無関心層を含む幅広い層の市民に関心を持ってもらう。
- ③各取組み間の波及・相乗効果を高める。

【開催概要】

開催日時	平成 27 年 9 月 1 日（月）～30 日（水）
開催場所	日野市内各所（市役所、ひの煉瓦ホール（市民会館）、イオンホール）
主催	日野市高齢福祉課
協力機関	鈴の会（認知症家族会）、若年性認知症家族会「芽吹き」、（公財）精神・神経科学振興財団、ひのケアマネ協議会、市内グループホーム、市内小規模多機能型居宅介護事業所、市内認知症対応型デイサービス事業所、NPO 法人 愛隣舎、日野市社会福祉協議会、日野社会福祉士会、（医社）英世会、（医社）康明会
後援機関	日野市医師会、日野市歯科医会

1. イベント

(1) 市民啓発講座 (9月6日(日) 14:00-16:00)

於：ひの煉瓦ホール(市民会館)小ホール
映画上映会と若年性認知症家族会のお話～認知症になってもいきいきと！～
「毎日がアルツハイマー2」映画上映

(2) 認知症無料医療相談会 (9月10日(木) 午後) 於：多摩平交流センター

(3) 認知症サポーター養成講座 (9月13日(日) 14:00-16:00)

於：イオンホール(イオンモール多摩平の森3階)

(4) 認知症カフェ (9月13日(日) 13:30~15:00)

於：イオンホール(イオンモール多摩平の森3階)

(5) 認知症サポーターステップアップ講座 (9月24日(木) 14:00~16:00)

於：イオンホール(イオンモール多摩平の森3階)

(6) 認知症家族介護者支援講座 (9月28日(月) 13:30~16:00)

於：イオンホール(イオンモール多摩平の森3階)

2. 9月中のイベント以外の対応

(1) 図書館における「認知症を知る月間」コーナーの設置

①9月中、日野図書館、多摩平図書館において関連書籍紹介コーナーを設置。

(2) 認知症啓発パネル展示

場所：①市役所1階

②イオンモール多摩平の森(2階無印良品前)

期間：9月1日(火)~9月30日(水)

(市役所の展示は9月25日(金)まで)

3. 各取組み間のつながりについて

※1つの講座等のイベントへの参加にとどまらず、関連した別の取組みへの参加や、ボランティア活動などの次のアクションにつなげるよう企画する。

(1) 市民啓発講座→サポーター養成講座、SOSネットワーク登録

(2) サポーター養成講座→ステップアップ講座→SOSネットワーク登録、ボランティア登録

(3) 医療相談会→家族支援講座、認知症カフェ

(4) 支援講座、認知症カフェ→家族交流会

4. PR方法

- 若い世代へのPRを行う。
- 統一感のあるオレンジで目立たせる。
- 無関心層にまで行き届くよう広くPR。

(1) 図書館展示コーナー

①オレンジ飾り、ポスター、ちらし

(2) イオンモール多摩平の森(2階無印良品前)

①イベント案内、ポスター掲示

(3) 市役所・支所における【月間】対応

①職員のリング着用、のぼり旗、ミニ旗等でPR

*ミニ旗等の作成はグループホーム等の協力事業所に依頼。

	<p>(4) 地域包括支援センターにおける【月間】対応</p> <p>①ポスター掲示、のぼり旗等でPR</p> <p>②スタッフのオレンジリング着用。</p> <p>(5) 事業所・社協における【月間】対応</p> <p>①月間ポスター掲示 ②利用者家族へのPR</p> <p>③スタッフのオレンジリング着用。</p> <p>(6) ちらしの配布</p> <p>①自治会回覧 ②社協 ちらし800部を会報で配布</p> <p>③在宅高齢者ケアサービスでちらしを配布 ④医師会で1,100部配布</p> <p>⑤その他、市内スーパー等で配布</p> <p>(7) 認知症月間の映像</p> <p>①イオンホール、七生支所、日野市ホームページにて公開</p>
開催内容	<p>(8) 日野市ホームページ</p> <p>(9) メッセージボード</p> <p>①イベントの参加者に書いてもらった感想や認識の変化などを掲示</p>

2) 事業実施結果

今回の目的である、①本人家族からのメッセージ（思い）を直接市民に届け、認知症を身近に感じてもらうことについては、市民啓発講座で若年性認知症家族会「芽吹き」の家族のお話、認知症家族介護者支援講座では認知症家族会「鈴の会」のお話を取り入れました。各イベントを通じて理解が深まったかどうかについては約8割が深まったと回答しています。②若い層、無関心層を含む幅広い層の市民に関心を持ってもらうという目的について、PR方法の工夫、プログラムで劇を取り入れる、イベントに参加した感想をメッセージパネルに掲示する等参加者に楽しんでもらう工夫などにより、市民啓発講座、認知症サポーター養成講座、家族支援講座、認知症カフェへの40歳代以下の参加者の平均が21.4%で、前年度と比較して約5ポイント高くなっています。また、「初めて参加した」と回答した人が平均約5割となっており、一定の成果があったと言えます。③各取組み間の波及・相乗効果を高める（1つの講座等のイベントへの参加にとどまらず、関連した別の取組みへの参加や、ボランティア活動などの次のアクションにつなげる）という点については、認知症カフェや認知症家族介護者支援講座の参加者のうち、高い割合で認知症サポーター養成講座に参加したことがあるという回答となっていたり、あるいはそれぞれのイベントを知った経緯として一定の割合の回答者が月間の別のイベントを挙げる結果となっているなど、こちらも開催の成果があったと言えます。月間に対する全体的な感想として大変良かった・良かったと回答した人の割合は前年度より約3ポイント高い82.2%となっています。

目的	成果指標	成果指標の達成状況(平均値)			
		25	50	75	100 (%)
1) 本人家族からのメッセージを直接市民に届け、認知症を身近に感じてもらおう	講座を通じた認知症についての理解(深まった・まあ深まったと回答した人の割合)	81.5%			
	「鈴の会」のお話に対する理解(よく理解できた・まあまあ理解できたと回答した人の割合)	74.6%			
2) 若い層、無関心層を含む幅広い層の市民に関心を持ってもらう	29歳以下～40歳代の参加者の割合	21.4%			
	はじめて認知症支援事業に参加した人の割合	50.5%			
3) 各取組み間の波及・相乗効果を高める	他の月間イベントをきっかけに認知症家族支援講座に参加した割合	15人(67人中)			
	他の月間イベントをきっかけに認知症カフェに参加した割合	2人(20人中)			
	他の月間イベントをきっかけに認知症サポーター養成講座に参加した割合	11人(112人中)			
	他の月間イベントをきっかけに認知症サポーターステップアップ講座に参加した割合	14人(63人中)			
4) 全体	「認知症を知る月間」の評価(大変良かった・良かったと回答した人の割合)	82.2%			

【関係者へのアンケート結果】

良かった点	<p>① 認知症への理解や関心を高めるような内容・構成だった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者の思いや意見を可能な限り講座内容に反映させるという意図に十分沿う内容になっていた。 ・笑いを交えながら認知症のことについての理解を深められる内容だった。 ・関心をもっていただくには、とても興味深い映画であった。 ・気持ちを体感するワークや、寸劇の後、実際に客席から認知症の方に声をかけてもらう体験があったり、心に残る講座に仕立てられた。 ・家族にとって情報交換や思いなどが話せる場として有用だった。 <p>② 広く市民を集客したり周知する工夫が見られた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンホールでの開催により、関心のある方が増えていることを実感した。 ・事業所の展示ボードが良いとの声があった。 <p>③ 準備、運営、スタッフ体制が適切であった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前の打ち合わせと役割分担の明瞭化でスムーズだった <p>④ グループホーム等協働による開催が良かった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の14事業所にも協力して頂き、事業所の利用者間での交流も深められ、参加者の認知症に対する理解も深められた。
改善点・今後の方向性	<p>① 広く市民を集客する更なる工夫が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の場所がわかりにくく、隣のホールの催しと間違える方が数名いた。 ・もう少し動線を考慮し機の配置を決め、会場のスペースを活かすべき。 ・ホール内の空きスペースがもったいなかった。 ・入口に認知症カフェと書いてあるので、実際に認知症の家族の方をお連れしたときに入り難い。 ・“9月だけではなく幅広く開催してもらいたい”との意見が多かった。 ・土日祝で開催できたらもっと多くの人に話を聞いて頂けて良かった。

②認知症に関する啓発や交流活動をより効果的に行うことが必要

- メッセージパネルは手間の割には、あまり効果的ではなかった。
- 家族と利用者を分けて、話しをしてもよかった。
- ストーリー性のある寸劇を行うことで、分かりやすく、共感が得られるような講座を目指していきたい。
- イベント同士の違いが分かりにくい場合もあるので、もっと市民参加型にするなど工夫が必要。

(※各イベントの詳細については、各取組みのページを参照)

PRの工夫

- ・「認知症を知る月間」のPRのため、のぼり旗を市役所周辺や地域包括支援センターに設置
- ・地域密着型施設が紙と割り箸で作成したミニ旗を市役所窓口等に設置
- ・啓発パネルを市役所1階およびイオンモール多摩平の森に展示



楽しむ工夫

- ・「認知症を知る月間」をより楽しんでもらうとともに月間の実施を周囲にPRするため、参加者や関心のある人から感想や認識の変化などを書いてもらい、模造紙等に貼って掲示



認知症無料医療相談会

- ・公益財団法人精神・神経科学振興財団の協力を得て、3名の医師による認知症やパーキンソン症状のある方の医療相談を実施
- ・その後、症例検討会を開き、勉強会を実施



図書館での認知症コーナー

日野図書館、多摩平図書館のイベントスペースにおいて、認知症関連書籍をまとめて紹介し、大変好評でした。

(2) 認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備

【担当：家族支援部会】

事業体系の「取組みの柱」、「1. 認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備」については、下表の通り「取組みの柱」および「認知症家族介護者支援講座」、「認知症カフェ」、「家族ニーズの把握（座談会の開催等）」、「認知症地域資源情報の検討」の4つの「取組み」ごとに「対象」と「意図」および成果指標を設定しました。部会による1年間の取組みの総合評価は「B」（おおむね達成した。おおむね成果が得られた）という結果でした。

方針	認知症や虐待の問題を抱える高齢者が尊厳をもって地域で生活することができるよう、本人や家族を地域で支える体制づくりをさらに進めます			
取組みの柱	1 認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備			
担当部会	家族支援部会	記入者	小林 雅尚	
1 取組みのねらい				
(1) 取組みの柱の「対象」と「意図」				
主な対象	（具体的な対象）		意図（対象がどのような状態になっているか）	
家族	<ul style="list-style-type: none"> ・本人 ・配偶者 ・兄弟、姉妹 ・子ども（同居・別居） ・義理の息子、娘 ・孫 ・その他 		（家族で）悩みや不安を抱え込まずに安心感を持って、地域で見守られながら本人や家族が生活している	
↓				
(2) 取組みの「対象」と「意図」				
取組み（取組みの柱の意図を実現するための手段）	対象	意図		
1) 認知症家族介護者支援講座	家族	認知症に関する理解を深めて、安心感を得られている		
2) 認知症カフェ【※新規】	家族・本人 ・地域住民	孤立感を感じずに介護に前向きになっている。		
3) 家族ニーズの把握【※新規】	家族	家族ニーズを把握し、共通の課題を抽出することで、施策に反映できないか検討されている。		
4) 認知症地域資源情報の改訂	家族・本人	認知症地域資源の情報を容易に入手し、必要な支援を得られている		
2 成果指標				
取組み	成果指標	単位	前年度実績 H26	実績値 H27最終
1) ①	家族介護者支援講座で「理解を深められた」と答えた割合	%	—	76.9%
2) ②	認知症カフェの参加者数	人	14	26
3) ③	把握した家族のニーズから抽出した共通課題	個	—	6
4) ④	認知症地域資源情報（簡易版）の完成、発行部数	部	—	—
3 取組みの柱の点検				
(1) 取組みの成果（「取組みの柱の意図」に対してどのような成果があったか、箇条書きで簡潔に記入）				
【最終評価】				
1) 認知症の理解が深められことや家族が知りたいことがアンケート結果で把握できた。 2) 月間の中では、参加者数が昨年度を上回り、より多くの方が交流する機会となった。 3) 家族交流会等で家族ニーズを参加者から把握し、共通課題を抽出し、施策への反映を検討できた。 4) 「認知症ケアパス」との関連も考慮し、認知症地域支援情報の見直しはせず、「認知症ケアパス」へとシフト変更することとした。				
(2) 次年度に向けた課題（現状の懸案事項や新たに対応すべき課題等を箇条書きで簡潔に記入）				
【最終評価】				
・平成27年度家族ニーズアンケートの共通課題を実施につなげていく。その中ですぐに実施できるものとして、介護技術講座への要望があったため、今後各圏域で介護技術の講座を実施していく。 ・認知症カフェについては、今後より身近な場所で開催できるようなカフェを開発できないか、情報収集をし検討していく。 ・家族交流会の自主化については、各圏域のイベント時にとったアンケートをまとめ今後検討を、また26年度からの課題の広報の方法について、引き続き検討していく。				
(3) 取組みの柱についての総合評価				
【最終】				
B	A : 達成した。十分な成果が得られた。			
	B : おおむね達成した。おおむね成果が得られた。			
	C : 目標達成までには至らなかった。期待した成果が得られなかった。			

取り組みの柱ごとに見ると、「認知症家族介護者支援講座」については、家族介護者支援講座で「理解を深められた」「まあまあ深められた」という回答が約8割でした。

新規事業の「認知症カフェ」については、認知症カフェの参加者数が昨年度の倍近くとなりました。参加のしやすさ、本人が楽しめているかについては、達成できたという評価となっています。

「家族ニーズの把握」については、家族交流会から出された家族のニーズから共通課題を抽出できました。

「認知症地域資源情報の活用」については、「認知症ケアパス」との関連を考慮し、認知症地域資源情報の全体の更新は行わず、日野市認知症ケアパスへ機能を統合させたため、実績が当初の評価項目に該当しない結果となりました。

■事業検討におけるチェックリスト一覧■

■平成26年度からの課題	
①「家族介護者支援講座」	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度アンケート結果を参考に現場で関心の高いテーマと、今後ますます増える認知症対策に沿ったテーマの設定 家族介護者支援講座等にて家族介護者交流会の周知を行ったが、確実に参加に繋がったかは未検証 ニーズに合った講座企画の検証として今後も講座終了後のアンケートにて満足度・理解度の項目を設定 各圏域での交流会で具体的な要望がそんなに多くは聞かれないため、今後共通アンケート等の実施も検討
②「家族介護者交流会」	<ul style="list-style-type: none"> より多くの方（新規）に参加していただけるよう広報の方法を工夫・検討（ケアマネや専門医を通じた周知） 圏域ごとの報告書で数値を把握し、各包括の意識を高める
③「認知症地域資源情報」	<ul style="list-style-type: none"> 「認知症ケアパス」との関連も考慮し、再度見直し必要 <ol style="list-style-type: none"> 1) 目的の明確化、2) 客観的な情報の掲載、3) 使いやすさの向上（インデックスの詳細化、資源のマップ化） 頻繁な更新は不要とし、使い勝手のいい冊子タイプの検討

1) 認知症家族介護者支援講座			
対象	家族	意図	認知症に関する理解を深めて、安心感を得られている
■チェックリスト（視点、課題） 【※下記は、H26認知症家族介護者支援講座の視点、課題（参考）】			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 家族が直面している課題に沿ったテーマ、旬のテーマ設定など、現場の声が企画に反映されているか			
<input checked="" type="checkbox"/> 2. テーマ設定理由が明確か			
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 交流会参加への着実なつながりが行われているか			
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 講座効果は現れているか（アンケートで確認）			

2) 認知症カフェ 【※新規】			
対象	家族・本人	意図	孤立感を感じずに介護に前向きになっている。
■チェックリスト（視点、課題）			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 参加しやすい環境を設定できているか（時間、場所、職員配置、動線）			
<input checked="" type="checkbox"/> 2. 本人が楽しめていたか（参加スタッフの感想を拾う）			
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 家族同士で交流を深められたか（アンケートで把握）			

3) 家族ニーズの把握 【※新規】			
対象	家族	意図	家族ニーズを把握し、共通の課題を抽出することで、施策に反映できないか検討されている。
■チェックリスト（視点、課題）			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 多くの家族介護者の声を拾えたかどうか。			

4) 認知症地域資源情報の活用 【※新規】			
対象	家族・本人	意図	認知症地域資源の情報を容易に入手し、必要な支援を得られている
■チェックリスト（視点、課題）			
<input type="checkbox"/> 1. 支援者が使いやすいか			
<input type="checkbox"/> 2. 認知症ケアパスとの関連を考慮したか			

1) 認知症家族介護者支援講座

平成 27 年度の認知症家族介護者支援講座（以下、「支援講座」）は、「認知症を知る月間」の取組みの一環として開催しました。支援講座は、認知症の人の家族が認知症に関する理解を深めて、安心感を得ていただくことを目的としています。

「認知症をよく理解するための9大法則・1原則」、「認知症の原因・治療と予防」、「認知症になったら？～地域で支える輪」をテーマに川崎幸クリニック院長杉山孝博先生にお話いただきました。

また、「鈴の会」（認知症家族会）に家族とともに日野市で 22 年間歩んできた道のりをお話いただきました。

杉山先生には、平成 26 年度のアンケート結果を参考に現場で関心の高いテーマと、今後ますます増える認知症対策に沿ったテーマで、笑いも取り入れながらお話いただきました。質疑応答も大変活発に行われ、参加者の満足度も高くとてもよい企画となりました。

「鈴の会」（認知症家族会）については、家族会の紹介を行うことで、家族会参加を促しました。

■開催概要

開催日時	平成 27 年 9 月 28 (月) 13:30~16:00 (開場: 13:00)
開催場所	イオンモール多摩平の森 3 階 イオンホール
実施主体	日野市高齢福祉課
司会	坂本 光徳氏 (地域包括支援センター多摩川苑)
定員 (参加者数)	250 名 (79 名)
プログラム (計 135 分)	1. 開会 挨拶 (5分) 高齢福祉課長 2. 「鈴の会」(認知症家族会)のお話 (15分) 質疑応答 (15分) 3. 講演 (90分) 認知症の理解と援助 講師: 杉山 孝博先生 (川崎幸クリニック院長) 4. 質疑応答 (10分) 5. 閉会

■講座の様子



「鈴の会」(認知症家族会)



杉山先生



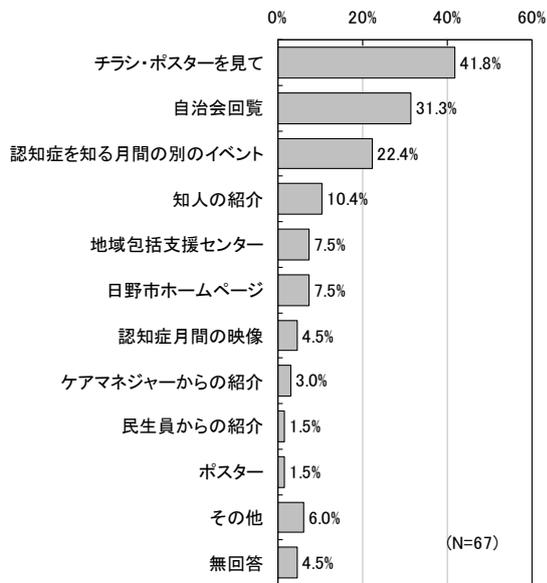
参加者の様子

認知症家族支援講座 アンケート結果

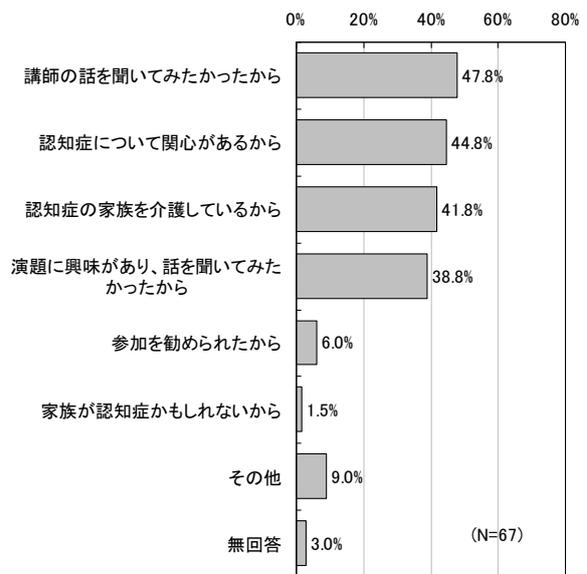
【アンケート回収状況】

参加者数：79人 回収数：67枚 回収率：84.8%

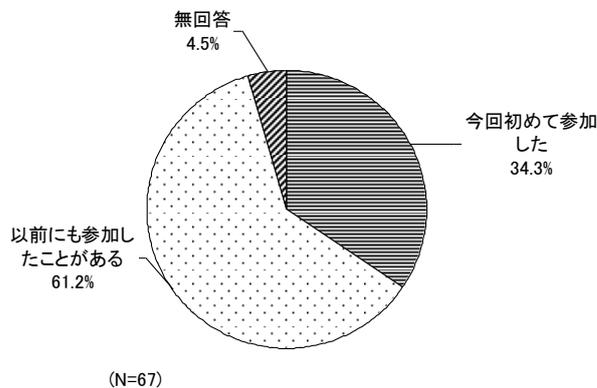
1. 講座を知った経緯



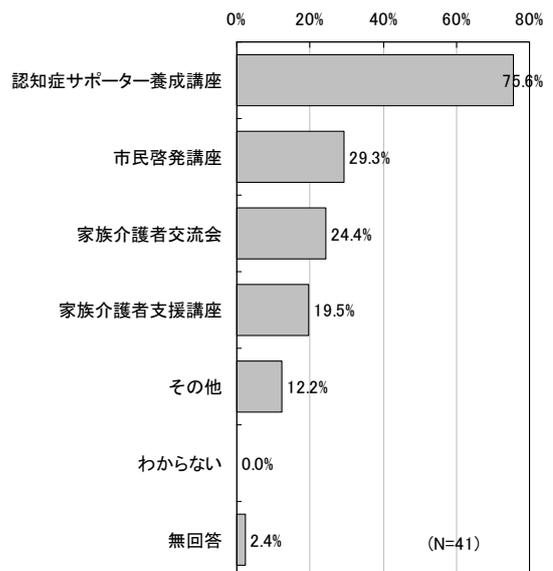
2. 参加動機



3. 日野市の認知症関連の講座等への参加経験の有無

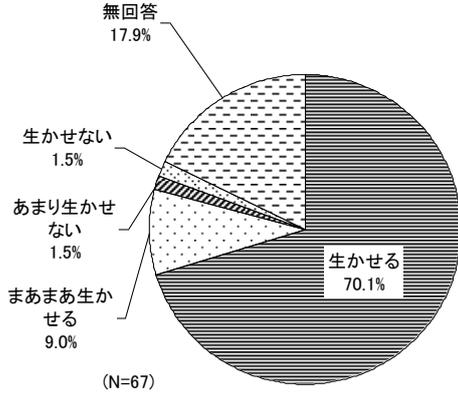


4. 参加したことのあるもの（複数回答）



5. 感想

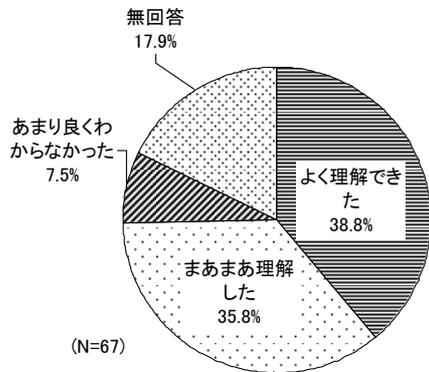
杉山孝博講師の講演：今後介護に生かせるか



自由記述

- ・先生のお話が分かりやすかった
- ・実例をお話してくださったので、良かった
- ・具体的内容で明確で実践できる
- ・介護者としての心がけが理解できた
- ・実情にあった話を多く聞くことができた
- ・やさしく接する事の大切さを知った
- ・普段はドクターの立場から具体的な話を聞くことがないので、気分が楽になった

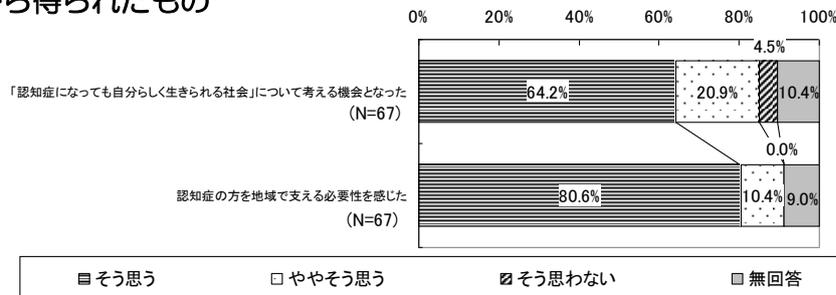
「鈴の会」(認知症家族会)のお話：家族会について理解を深められたか



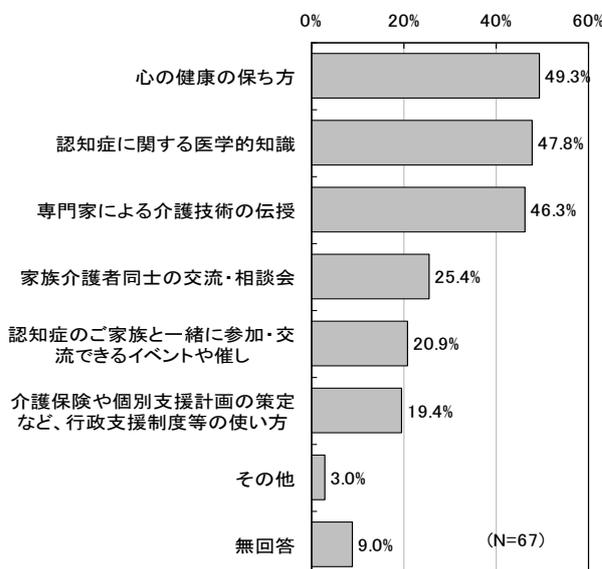
自由記述

- ・経験者の話は、理解しやすい
- ・過去からつながって、現在の介護の状態があると分かった
- ・施設の利用方法がわかった
- ・鈴の会の実際の活動はどのようにしているのか分からなかった
- ・認知症内容及びケースについては杉山先生と重複する
- ・地域のあちこちに、いつでも話を聞いてくれるような家族のあつまる場があったらよい

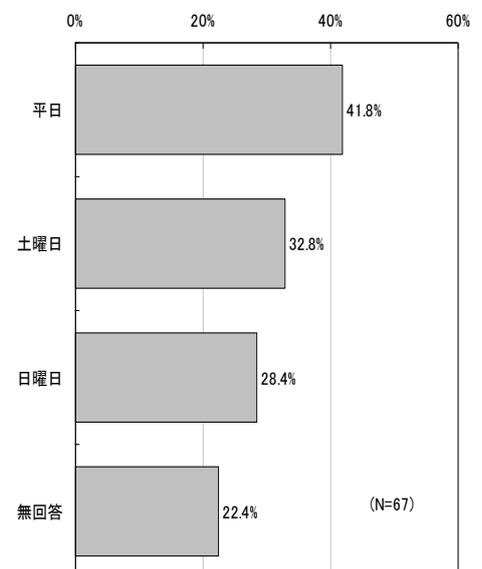
6. 講座から得られたもの



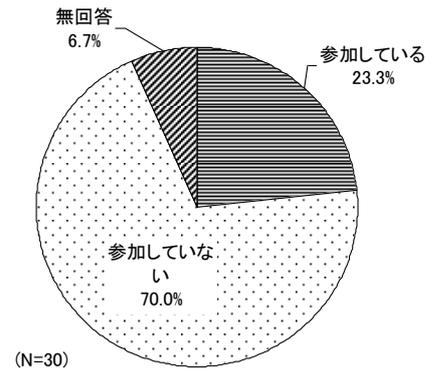
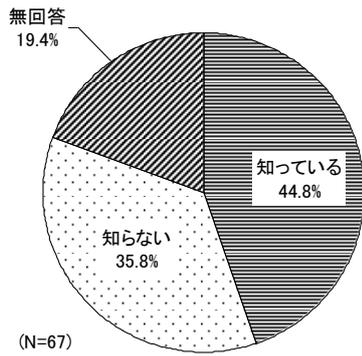
7. 今後の講座の希望



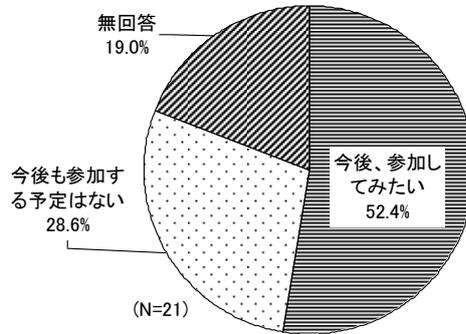
講座を開催するにあたり希望する曜日



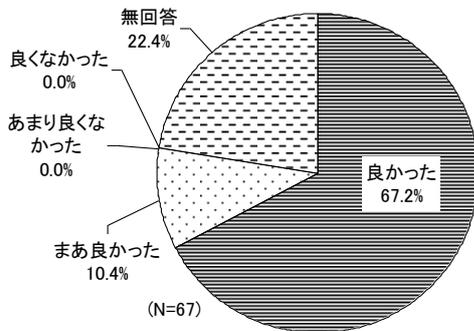
8. 「認知症家族介護者交流会」の認知度 → 「認知症家族介護者交流会」への参加



(参加していない方のみ回答)
「認知症家族介護者交流会」への参加意向



9. 「認知症を知る月間」の感想

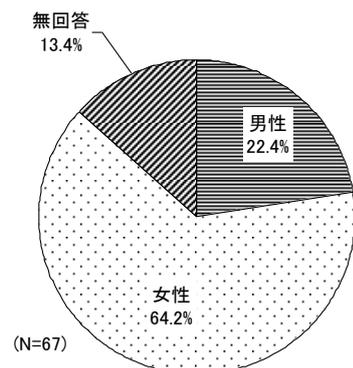


自由記述(主なご意見)

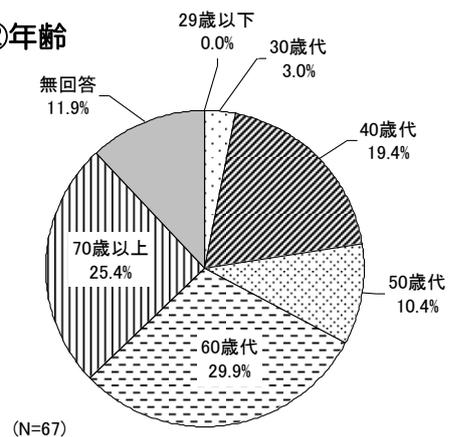
- ・地域とつながりのない方も利用するような場所でイベントがあるのとても良い
- ・劇がわかりやすく具体的で、しかも笑える
- ・杉山先生の話が良かった
- ・細かい対応方法などを知ることができて、安心感が増した
- ・プロの方の講座はとても参考になる。
- ・認知症の実態を知るよい機会になった
- ・どれも充実した内容で身になった
- ・全体の時間が長すぎた
- ・広報ひのでの大きなお知らせをして欲しい
- ・オレンジ色のインパクトは大きい
- ・今後も積極的に参加したい
- ・来年も期待している

10. 属性

①性別



②年齢



■認知症家族介護者交流会 実施記録

平成19年度より、介護者の精神的なケアの充実を目的に、日野市内の4つの生活圏域ごとに、認知症高齢者等の家族介護者が集まり会話や情報交換を行う「認知症家族介護者交流会」（以下、交流会）を実施しており、平成27年度は28回実施しました。

【たかはた圏域】（6回）

	開催日	時間	場所	参加人数	参加人数（内訳）	内容
1	5月13日 （水）	10:00 ～ 11:30	福祉支援センター	10名	家族：10名 オブザーバー：0名	日野市の認知症の計画等の説明等・懇談会
2	7月1日 （水）	10:00 ～ 11:30	福祉支援センター	14名	家族：10名 オブザーバー：4名	お薬勉強会 懇談会
3	9月1日 （火）	10:00 ～ 11:30	福祉支援センター	17名	家族：11名 オブザーバー：6名	家族交流会自主企画の提案等・懇談会
4	11月4日 （水）	10:00 ～ 11:30	福祉支援センター	14名	家族：8名 オブザーバー：6名	家族交流会自主企画の提案等・懇談会
5	1月13日 （水）	10:45 ～ 11:30	福祉支援センター	16名	家族：10名 オブザーバー：6名	ホテルでの昼食会
6	3月7日 （月）	10:00 ～ 12:00	高幡福祉センター	10名	家族：10名 オブザーバー：0名	講演会 座談会

【ひの圏域】（6回）

	開催日	時間	場所	参加人数	参加人数（内訳）	内容
1	4月16日 （木）	10:00 ～ 12:00	サルビア会議室	4名	家族：4名 オブザーバー：0名	茶話会
2	6月18日 （木）	10:00 ～ 12:00	サルビア会議室	7名	家族：7名 オブザーバー：0名	茶話会
3	8月20日 （木）	10:00 ～ 12:00	サルビア会議室	7名	家族：7名 オブザーバー：0名	家族ニーズの把握・茶話会
4	10月15日 （木）	10:00 ～ 12:00	サルビア会議室	5名	家族：5名 オブザーバー：0名	茶話会
5	12月17日 （木）	10:00 ～ 12:00	サルビア会議室	5名	家族：5名 オブザーバー：0名	茶話会
6	2月18日 （木）	10:00 ～ 12:00	あったカフェ会議室	10名	家族：8名 オブザーバー：2名	アロマセラピストによるアロマ講座

【とよだ圏域】（16回）

	開催日	時間	場所	参加人数	参加人数（内訳）	内容
1	4月9日 （木）	14:15 ～ 16:00	愛隣舎ホ ール	15名	家族：8名 オブザーバー：1名	最近の介護の状 態について
2	7月12日 （月）	13:00 ～ 16:30	コミュニ ティハウ スアウル	25名	家族：8名 オブザーバー：6名	すてっぴカフェ
3	8月13日 （木）	14:15 ～ 16:00	愛隣舎ホ ール	4名	家族：1名 オブザーバー：1名	現在の介護状 態、今抱えてい る介護問題につ いて
4	8月25日 （火）	13:00 ～ 15:00	コミュニ ティハウ スアウル	30名	家族：23名 オブザーバー：7名	すてっぴカフェ
5	9月29日 （火）	13:00 ～ 15:00	コミュニ ティハウ スアウル	28名	家族：19名 オブザーバー：9名	すてっぴカフェ
6	10月8日 （木）	14:30 ～ 16:00	愛隣舎ホ ール	5名	家族：4名 オブザーバー：1名	最近の介護状 況、介護者のス トレスについて
7	10月27日 （火）	13:00 ～ 15:00	コミュニ ティハウ スアウル	20名	家族：8名 オブザーバー：12 名	すてっぴカフェ
8	11月24日 （火）	13:00 ～ 15:00	コミュニ ティハウ スアウル	17名	家族：8名 オブザーバー：9名	すてっぴカフェ
9	12月10日 （木）	14:15 ～ 16:00	愛隣舎ホ ール	9名	家族：5名 オブザーバー：4名	現在の本人の状 態の報告及び対 処法等について
10	12月22日 （火）	13:00 ～ 15:00	コミュニ ティハウ スアウル	17名	家族：13名 オブザーバー：4名	すてっぴカフェ
11	1月26日 （火）	13:00 ～ 15:00	コミュニ ティハウ スアウル	14名	家族：10名 オブザーバー：4名	すてっぴカフェ
12	2月10日 （火）	14:15 ～ 16:00	愛隣舎ホ ール	4名	家族：3名 オブザーバー：1名	初めて参加の方 のお話
13	2月23日 （火）	13:00 ～ 15:00	コミュニ ティハウ スアウル	15名	家族：9名 オブザーバー：6名	すてっぴカフェ

	開催日	時間	場所	参加人数	参加人数(内訳)	内容
14	3月16日 (水)	13:00 ～ 16:30	勤労青年 会館	65名		すてっぴカフェ
15	3月22日	13:00 ～ 16:30	コミュニ ティハウ スアウル	14名	家族：7名 オブザーバー：4名	すてっぴカフェ
16	3月23日 (火)	14:00 ～ 16:30	愛隣舎ホ ール	9名	家族：4名 オブザーバー：4名	すてっぴカフェ

【ひらやま圏域】(6回)

	開催日	時間	場所	参加人数	参加人数(内訳)	内容
1	4月15日 (水)	10:00 ～ 11:30	南平西交 流センタ ー	9名	家族：9名 オブザーバー：0名	介護者家族の意 見交換 長年介護経験者 の経験談
2	6月17日 (水)	10:00 ～ 11:30	南平西交 流センタ ー	6名	家族：6名 オブザーバー：0名	介護者家族の意 見交換
3	8月19日 (水)	10:00 ～ 11:30	南平西交 流センタ ー	6名	家族：4名 オブザーバー：2名	介護者家族の意 見交換 家族ニーズの把 握
4	10月21日 (水)	10:00 ～ 11:30	南平西交 流センタ ー	8名	家族：7名 オブザーバー：1名	家族間の意見交 換
5	12月16日 (水)	10:00 ～ 11:30	南平西交 流センタ ー	8名	家族：6名 オブザーバー：2名	家族間の意見交 換 小規模多機能ホ ームに関する情 報提供
6	2月17日 (水)	10:00 ～ 11:30	あったカ フェ	9名	家族：8名 オブザーバー：1名	あったカフェ見 学・体験 家族情報交換 配食サービス試 食体験

2) 認知症カフェ

平成26年度より「認知症を知る月間」において開催している認知症カフェを今年度も引き続き開催しました。

市内小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)、認知症対応型通所介護事業所、ひのケアマネ協議会との協働で企画・運営を進めました。カフェの目的である「交流の場」をより充実させるため、家族介護者に向けた

事業所の紹介ブース、家族会による手作りのフラワーアレンジメント、利用者によってつくられたクッキーの提供やドリンクバーの設置を行いました。

会場は、家族介護者、グループホーム等の利用者と職員、スタッフで一杯となり、大変熱気にあふれたものとなりました。冒頭で芽吹きの家活動紹介動画を放映したため、各テーブルでの参加者の話題がさらに広がりました。家族介護者はもちろんのこと、地域密着型事業所の利用者がお茶の配膳を行い、いきいきとお話する光景も見られました。

■開催概要（認知症カフェ）

開催日時	平成27年9月13（日）13:30～15:00（開場：13:00）
開催場所	イオンモール多摩平の森3階 イオンホール
実施主体	日野市高齢福祉課
定員（参加者数）	なし（茶菓子は70名分を用意）26名
プログラム （計90分）	1. 芽吹きの家活動紹介動画上映 2. カフェ ①認知症の方やその家族、認知症に関心のある方がおしゃべりをしながら交流 ②飲み物のほか、市内地域密着型事業所の利用者が心を込めた手作りクッキーを用意

また、平成27年9月30日には、社会福祉法人マザアスを運営主体とする常設型の認知症カフェ（認知症コミュニティあったカフェ）が都営栄町二丁目アパート2号棟1階に新設されました。

「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」に関して少しでも貢献したいという法人の思いと、市の施策の方向性が一致し、認知症カフェの新設という形で実現したものです。

認知症の当事者や家族、地域の人、専門職などがゆったりと過ごしながら、情報交換できる場として、週1日毎週水曜日に開場しています。（入館料：1回100円）

利用者状況

営業日	利用者数	地域の方 高齢者	介護・福祉関係者	マザアス関係者	議員・その他
9月30日	40	9	13	11	7
10月(4回)	81	52	22	4	3
11月(4回)	118	82	20	11	5
12月(3回)	100	84	6	7	3
1月(4回)	112	93	12	4	3
2月(4回)	152	130	17	4	1
3月(4回)	142	130	8	4	0
総利用者対応	745	580	98	45	22

3) 家族ニーズの把握

これまでの認知症施策は、認知症の人を支える側の視点に偏りがちであったことに対し、今後は認知症の人やその家族の視点を重視した取組みを進めていくことが「新オレンジプラン」にも掲げられています。それを受けて本市では、平成 27 年度より共通の課題を抽出し、施策に反映できないか検討するために家族ニーズの把握への取組みを始めました。

具体的には、市内 4 か所の生活圏域と市内 2 か所の認知症家族の会で開催される家族交流会でアンケートを実施しました。その回答から家族ニーズを把握し、共通の課題を抽出し、施策への反映ができそうな課題を探しました。

■「あったカフェ」の様子



■「認知症カフェ」の様子



左：利用者が作ったクッキー
中：ドリンクバー
右：ドリンクバーに並ぶ参加者

左：事業所の紹介
右：参加者同士でおしゃべり

4) 認知症地域資源情報の検討

平成 27 年度は、認知症地域資源情報冊子に関するアンケートを、地域包括支援センター職員対象に実施したところ、必ずしも十分に活用されていないことが明らかになったことから、認知症地域資源情報の全体の更新は行わず、地域包括支援センターごとに必要に応じて個別に利用および更新をすることとし、日野市認知症ケアパスへ機能を統合させました。

■ 認知症対策推進会議での議論に基づき作成した日野市認知症ケアパスから抜粋
(グループ別サービス早わかり表)

	水色グループ (認知症の疑い)	緑色グループ (軽度認知症)	茶色グループ (中程度認知症)	ピンク色グループ (重度認知症)
身体介護			訪問介護、通所介護	
医療		もの忘れ外来、医療相談	入院の相談・支援	
緊急時支援 (精神症状がみられる等)			認知症徘徊者高齢者SOSネットワーク 認知症疾患医療センター、専門医療機関 緊急一時保護事業	
介護予防・悪化予防	サークル活動、各種教室、スポーツ活動			
住まい、生活の場	シルバーピア、ケアハウス	グループホーム	介護老人保健施設、介護付き有料老人ホーム 特別養護老人ホーム	
家族支援		サービス付き高齢者向け住宅	認知症家族介護者交流会、家族会 ショートステイ、緊急一時保護事業 認知症家族介護支援講座、認知症サポーター養成講座	
生活支援		認知症カフェ 配食サービス		
他者とのつながり	高齢者緊急通報システム、火災安全システム 老人クラブ、サークル活動、ふれあいサロン		福祉移送サービス	
仕事・役割	シルバー人材センター 気にかけて運動など自治会活動、見守り活動			
安否確認・見守り		高齢者見守り支援ネットワーク 配食サービス		
			認知症徘徊高齢者SOSネットワーク、徘徊高齢者探索システム 災害時の安否確認 (自主防災組織、福祉避難所)	

主なサービスの例

(3) 一般市民に対する認知症や虐待防止等の理解促進

【担当：市民啓発部会】

事業体系の「取組みの柱」、「2. 一般市民に対する認知症や虐待防止等の理解促進」については、下表の通り「取組みの柱」および「認知症市民啓発講座」、「認知症サポーター養成講座」、「キャラバン・メイト連絡会」（P52 参照）、「虐待防止啓発」（P52 参照）の4つの「取組み」ごとに「対象」と「意図」および成果指標を設定しました。1年間の取組みの総合評価は「B」（おおむね達成した。おおむね成果が得られた）という結果でした。

方針	認知症や虐待の問題を抱える高齢者が尊厳をもって地域で生活することができるよう、本人や家族を地域で支える体制づくりをさらに進めます
取組みの柱	2 一般市民に対する認知症・虐待防止等の理解促進

担当部会	市民啓発部会	記入者	小林 尚子
------	--------	-----	-------

1 取組みのねらい

(1) 取組みの柱の「対象」と「意図」		
主な対象	(具体的な対象)	意図 (対象がどのような状態になっているか)
日野市にいる全ての人	<ul style="list-style-type: none"> ・日中日野市にいる市民 (学生、在勤者含む) ・日中日野市にいない市民 (市外通勤者等) ・若い世代 ・認知症の方の近隣の住民 ・子育てを終えた主婦 ・子育て中の人 ・普段認知症に全く関係ない人 ・認知症の方の世話をしている人 	認知症に対する理解を深め、みなで協力しながら安心して生活している



(2) 取組みの「対象」と「意図」		
取組み (取組みの柱の意図を実現するための手段)	対象	意図
1) 認知症市民啓発講座	日野市にいる全ての人	認知症についての正しい知識を得て、理解を深めている
2) 認知症サポーター養成講座	日野市にいる全ての人	みなで支えあう意識がある
3) キャラバンメイト連絡会【※新規】	短期：既存キャラバンメイト 中長期：市民キャラバンメイト	短期 (1年後)：ステップアップ講座の仕組みが構築されている 中長期：(市内で) 活躍している。
4) 虐待防止啓発	日野市にいる全ての人	短期：高齢者虐待の正しい知識を得て、理解を深めている 中長期：虐待をしていない・させていない

2 成果指標

取組み	成果指標	単位	前年度実績	実績値
			H26	H27最終
1) ①	市民啓発講座で「理解が深まった」と答えた割合/意図した目的を理解した割合	%	—	88.8
2) ②	認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の参加者数 (年間)	人	1,578	2403
3) ③	キャラバンメイト連絡会の開催回数	回	1	—
4) ④	虐待防止啓発の回数 (チラシ配布回数)	回	—	5

3 取組みの柱の点検

記入年月日 H28年 2月 8日

(1) 取組みの成果 (「取組みの柱の意図」に対してどのような成果があったか、箇条書きで簡潔に記入)	
【最終評価】	
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を知る月間では、PV・ポスター等新しい手法も取り入れながら各機関と連携し、多くの市民等に認知症の理解を深める講座ができた。 ・今年度初めてステップアップ講座を実施し、市民等が認知症の理解から行動へのきっかけにつながる講座の仕組みづくりができ、支え合いの意識づくりへ向けて前進した。 ・虐待防止啓発に関しては、様々なイベントで啓発活動ができた。啓発活動は継続しておこなう必要がある。 	
(2) 次年度に向けた課題 (現状の懸案事項や新たに対応すべき課題等を箇条書きで簡潔に記入)	
【最終評価】	
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターを増やし、活動してもらうための仕組みの詳細の最終決定と、効果検証、改善。(サポーター養成講座からステップアップ講座へ繋げるための仕組みづくり、キャラバン・メイトの啓発、ステップアップ講座、公衆型の回数を増やして実施等) ・家族支援部会による家族ニーズ調査結果から実施の検討。 ・「認知症予防」をテーマとした市民啓発講座の開催について検討。 	
(3) 取組みの柱についての総合評価	
【最終】	
B	A : 達成した。十分な成果が得られた。
	B : おおむね達成した。おおむね成果が得られた。
	C : 目標達成までには至らなかった。期待した成果が得られなかった。

取り組みの柱ごとに見ると、認知症に対する正しい知識を得、理解を深めることが目標となっている「認知症市民啓発講座」については、市民啓発講座で「理解を深められた」「まあまあ深められた」という回答が約9割でした。

みなで支えあう意識があるということを目指している「認知症サポーター養成講座」については、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の参加者数（年間）が昨年度を大きく上回っています。

新規事業の「キャラバン・メイト連絡会」については、認知症を知る月間において、ステップアップ講座を開催することができましたが、キャラバン・メイト連絡会の開催については、平成28年度以降も継続的に検討していくこととなりました。

「虐待防止啓発」については、理解を深めるために、さまざまなイベントで虐待防止のチラシを配布しました。

■事業検討におけるチェックリスト一覧■

■平成26年度からの課題		
<ul style="list-style-type: none"> ①「認知症市民啓発講座」 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時の選定や周知PRの工夫による集客が課題（平成26年度の実績より） ・行動に結びつくきっかけとなるテーマを設定 ・継続してアンケートから要望の高いテーマ設定にする ②「認知症サポーター養成講座」 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的にサポーターを増やす為の仕組み作り（キャラバンメイト研修と定期的なキャラバンメイト連絡会の実施） ・公募型の回数を増やして実施 ③「キャラバンメイト連絡会」 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に対する社会資源となる人材の育成（ステップアップ講座等の検討） ・定期開催を目指す ④虐待防止啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・月間と産業まつりを中心に啓発 ・引き続きサポーター養成講座時の啓発 		
1) 認知症市民啓発講座		
対象	日野市にいる全ての人	意図 認知症についての正しい知識を得て、理解を深めている
■チェックリスト（視点、課題）【※下記は、H26認知症市民啓発講座の視点、課題（参考）】		
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 市民にあった（参加したい）テーマに設定になっているか		
<input checked="" type="checkbox"/> 2. 認知症を理解して、行動にうつすためのきっかけになったか		
2) 認知症サポーター養成講座		
対象	日野市にいる全ての人	意図 みなで支えあう意識がある
■チェックリスト（視点、課題）【※下記は、H26認知症サポーター養成講座の視点、課題（参考）】		
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 参加を促す周知方法の工夫はあるか		
<input checked="" type="checkbox"/> 2. サポーターとして行動する意欲につながったか		
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 学生対象・企業対象講座の実施		
<input checked="" type="checkbox"/> 4. 市民参加のステップアップ講座の実施		
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 公募型の回数を増やして実施されたか		
3) キャラバンメイト連絡会 【※新規】		
対象	短期：既存キャラバンメイト 中長期：市民キャラバンメイト	意図 短期（1年後）：ステップアップ講座の仕組みが構築されている 中長期：（市内で）活躍している
■チェックリスト（視点、課題）		
<input checked="" type="checkbox"/> 1. ステップアップ講座の仕組みが構築されている		
<input type="checkbox"/> 2. キャラバンメイトを増やすための取り組みがなされているか		
4) 虐待防止啓発		
対象	日野市にいる全ての人	意図 短期：高齢者虐待の正しい知識を得て、理解を深めている 中長期：虐待をしていない・させていない
■チェックリスト（視点、課題）【※下記は、H26虐待防止啓発の視点、課題（参考）】		
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 市民の集まるイベント等で適切な啓発がなされたか		

1) 認知症市民啓発講座

本市において社会全体で認知症の人を支える基盤として、認知症の人の視点に立って認知症への社会の理解を深めるために、広く市民に普及・啓発の推進を図るものの一貫として「市民啓発講座」を開催してきました。

認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進し早期診断・治療・見守りにつなげていく基盤をつくるため、認知症の人が住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けられる地域の形成が求められています。

そこで、平成 27 年度の「第 1 回認知症市民啓発講座」は、認知症についての正しい知識を得て、理解を深められるよう、「認知症になってもいきいきと！～映画上映と若年性認知症の家族のお話～」と題して開催しました。講座は、芽吹きの家による活動映像・お話、市の施策紹介・PR、「毎日がアルツハイマー 2」の上映を構成の柱とし、若い層、無関心層も関心を持ちやすい映画という方法で認知症に触れていただきました。また、若年性認知症家族会「芽吹き」によるメッセージ（思い）を直接市民に届けました。

認知症を理解して、行動に移すためのきっかけとなるように、講座の中で市の施策の紹介を行った上、講座終了後、認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の申込みを受け付けました。結果として、講座受講者のうち認知症サポーター養成講座に申し込まれた方が 30 件、認知症サポーターステップアップ講座が 21 件ありました。

また、1 月 23 日に開催された「第 2 回認知症市民啓発講座」では、新オレンジプランの柱のひとつでもある「若年性認知症施策の強化」も踏まえ、「若年性認知症と言われた日から」というテーマで、当事者でもある丹野智文さんに講演をしていただきました。丹野智文さんによる基礎講演に続き、芽吹きの家による対談等を交えたシンポジウムを行うというプログラムで、130人を超える参加がありました。

■ 講座の様子

【第一回市民啓発講座】



左：会場受付
右：「芽吹き」のお話



左：講演
右：講座受付

【第二回市民啓発講座】



左：シンポジウム
右：丹野氏



左：芽吹きの会
右：挨拶

■開催概要

開催日時	平成27年9月6日(日) 14:00~16:00 (開場: 13:30)
開催場所	ひの煉瓦ホール(日野市民会館)
実施主体	日野市高齢福祉課 協力 NPO 法人愛隣舎、社会福祉士会、社会福祉法人創隣会、(医社)英世会、(医社)康明会、認知症家族会「鈴の会」、若年性認知症家族会「芽吹き」
司会	西村サオリ氏(地域包括支援センターあさかわ)
定員(参加者数)	170名(98人)
プログラム (計120分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 挨拶 (5分) 2. 協力法人の紹介 (5分) 3. 司会から認知症を知る月間の紹介 (3分) 4. 芽吹きの会 活動映像・お話 (30分) 5. 市の施策紹介・PR (10分) <ol style="list-style-type: none"> ①地域包括支援センター ②高齢者見守りネットワーク ③SOS ネットワーク ④認知症サポーター養成講座 ⑤認知症サポーターステップアップ講座 6. 休憩 (10分) 7. 司会から「毎日がアルツハイマー2」の説明 (3分) 8. 「毎日がアルツハイマー2」の上映 (51分) 9. 閉会、芽吹き会相談ブース紹介 (3分)

開催日時	平成28年1月23日(土) 14:00 ~ 16:00
開催場所	日野市東部会館3階ホール
実施主体	(共催) 日野市社会福祉協議会、若年性認知症家族会「芽吹き」、日野市高齢福祉課
司会	日野市社会福祉協議会
定員(参加者数)	150名(132人)
プログラム (計120分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 14:00~ 日野市社会福祉協議会から挨拶(5分) 2. 14:10~ 基調講演(25分) 丹野智文氏 ・認知症と言われてから (発症、家族、仕事、現在の活動) 休憩(10分) 3. 14:45~ シンポジウム(60分) ・丹野智文氏、 おれんじドア実行委員会事務局 井上博文氏、 芽吹きの会による対談 ・各団体の取組み、周囲の理解、 職場にできる支援 4. 15:45~ 質疑応答 5. 15:55 閉会の挨拶 大坪市長 6. 16:00 閉会

市民啓発講座 アンケート結果

【アンケート回収状況】

(第1回)

講座名：映画上映会と若年性認知症家族会のお話～認知症になってもいきいきと！～

参加者数：98人 回収数：70枚 回収率：71.4%

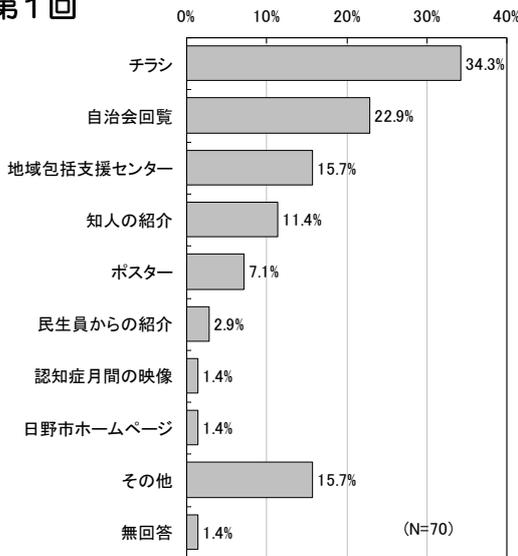
(第2回)

講座名：若年性認知症と言われた日から

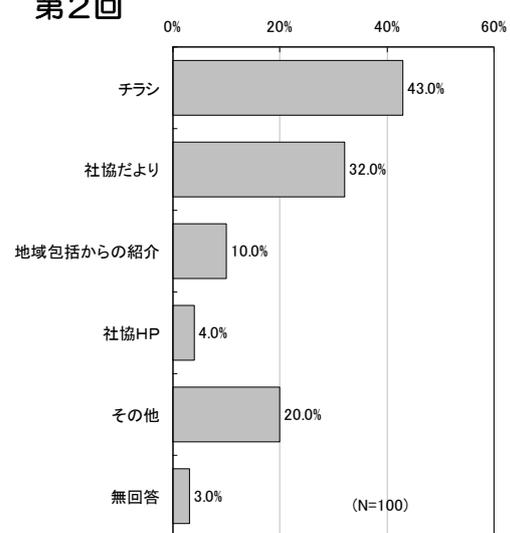
参加者数：132人 回収数100枚 回収率：75.8%

1. 講座を知った経緯

第1回

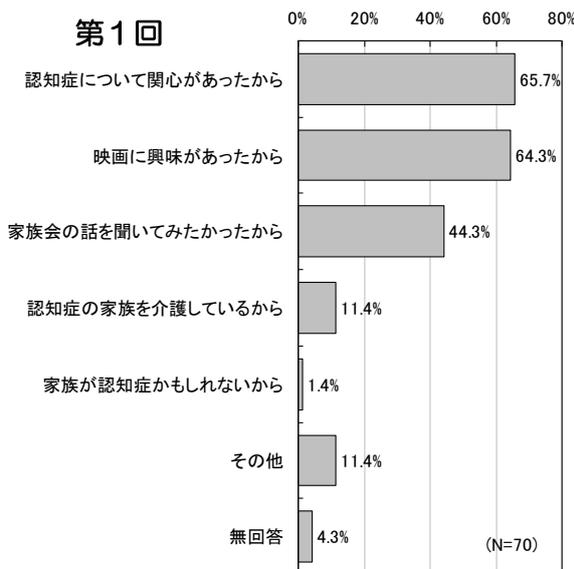


第2回

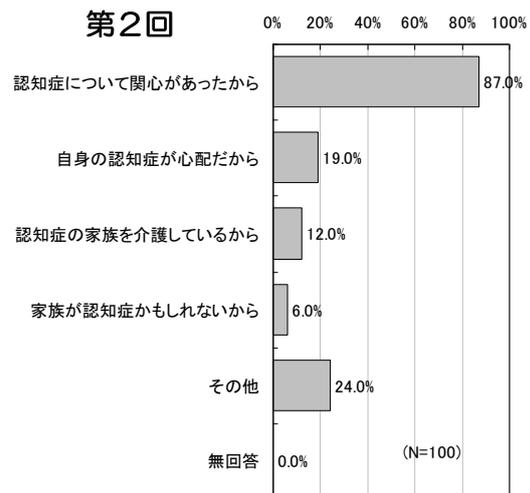


2. 参加動機

第1回



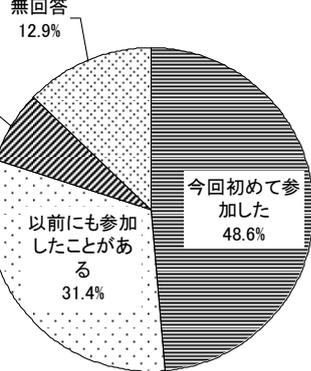
第2回



3. 日野市の認知症関連の講座等への参加経験の有無

第1回

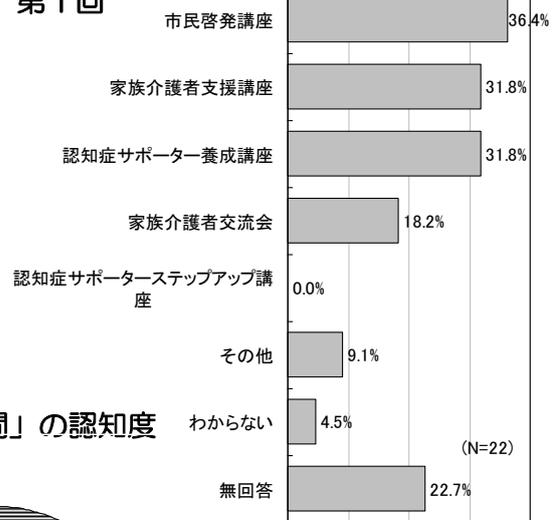
他市・勤務先のものに参加したことがある
7.1%



(N=70)

4. 参加したことのあるもの（複数回答）

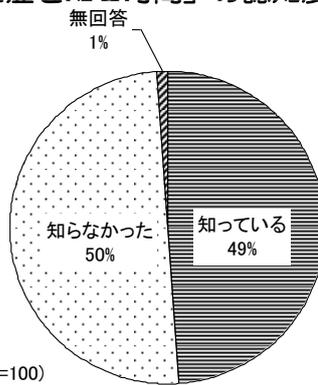
第1回



(N=22)

5. 「認知症を知る月間」の認知度

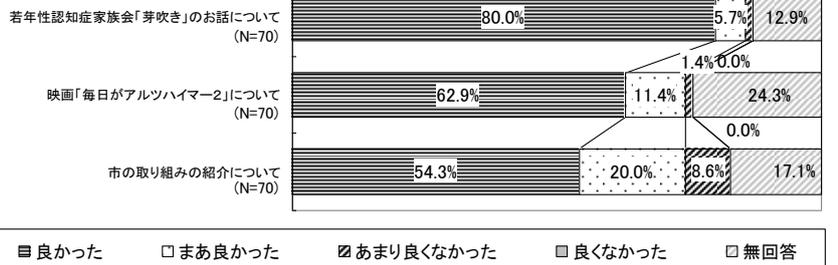
第2回



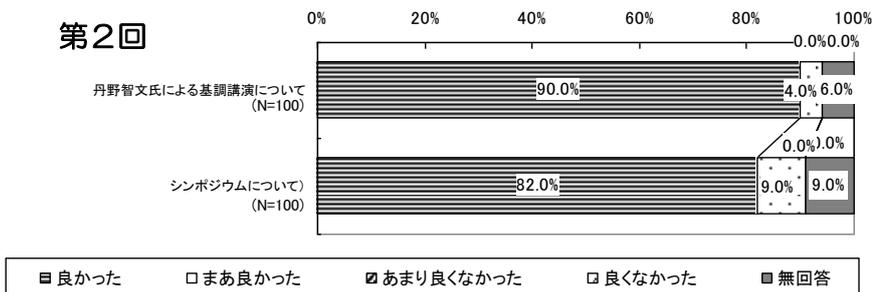
(N=100)

6. 感想

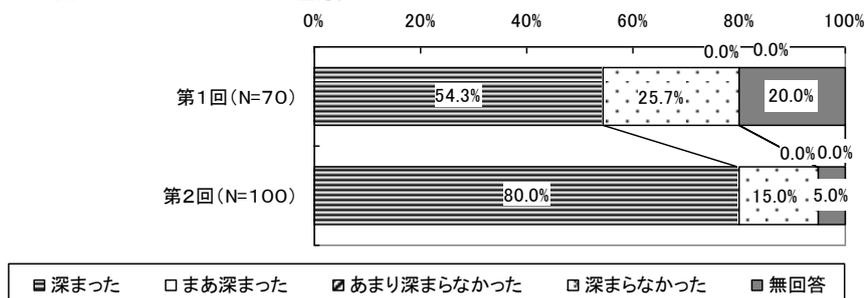
第1回



第2回



講座を通じた認知症についての理解



自由記述

【第1回】【芽吹き】

- ・大変参考になり、共感できるお話だった。
- ・大変さが分かった。
- ・家族の生の声に感動した。
- ・自分も考え方をしっかりしなくてはと思う。
- ・初めて会の名前を聞いた。
- ・家族会の存在の大切さがわかった。

【映画】

- ・その人を中心におく介護に共感した。
- ・パーソンセンタードケアの大切さを知った。
- ・考えさせられることが多かった。
- ・理解が深まった。
- ・対応策が少し分かった。
- ・明るく笑えて元気が出た。
- ・たのしい、すばらしい映画だった。
- ・「毎日がアルツハイマー2」だけではなく1も見たい。

【市の取組み】

- ・思った以上にネットワークが組まれていることを知った。
- ・短い時間でわかりやすい内容だった。
- ・印刷されたものがほしかった。
- ・深く取り組みないか。
- ・取組みがもっと広がればよい。
- ・ステップアップ支援を期待する。

【第2回】【丹野智文氏による基調講演】

- ・アルツハイマーと診断されてからの気持ちがわかった。
- ・ご自身の気持ちを話してくださり感動した。
- ・環境を整えることが必要。
- ・自分の中に偏見があったことに気づいた。
- ・サポーターとなり得る理解者を地域に求めるべき。
- ・認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに私も貢献したい。
- ・当事者同士、家族同士の交流相談も大切。
- ・経過を伝えてくれたので、わかりやすかった。

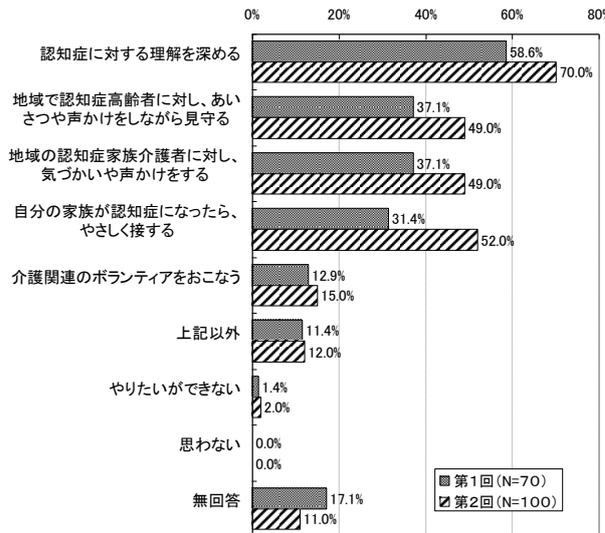
【シンポジウム】

- ・日野市と社協の力が大きく強く安心した。
- ・若年性認知症の会があり、相談仲間がいるのは心強い。
- ・それぞれの立場からの話が聞けた。
- ・熱い思いを持ちながらユーモアを交えたので、演台と自分の距離が近くなった。
- ・具体的な事例が出てわかりやすかった。
- ・他人事のように思っていたが身近に感じ理解が深まった。
- ・社会で仕事や普通の生活ができるような地域になるような協力をしたい。
- ・このようなシンポジウムを年1回聞いてみたい。

【認知症についての理解】

- ・聞きたかった内容の話が出た。
- ・具体的なヒントをいただいた。
- ・家族の支援も大事だが、当事者支援の大切さを知った。
- ・お互いに優しい気持ちでパートナーになれるよう、近づきたい。
- ・自分の殻を破り外に出ることで周囲の人の気持ちや環境も変化する。
- ・当事者間で話をするのが大切。
- ・市にやさしく対応していただけるので、日野市で過ごしたい。
- ・市の境を越えて多摩地区で協力して欲しい。

7. 講座を通じてしてみたいと思ったこと



「認知症を知る月間」についての意見

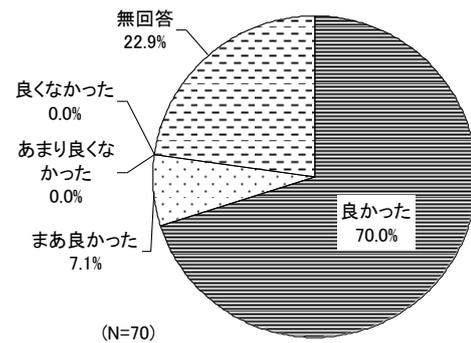
第1回

自由記述(主なご意見)

- ・必要なことである。
- ・家族会がしっかりしているのでその取組みの紹介はインパクトがある。
- ・芽ぶきの会の方々のお話が大変良かった。
- ・認知症の病気がより身近になった。
- ・介護者の苦悩を知ることが出来た。
- ・認知症にならないよう、予防したいと思う。
- ・今まで企画を知らなかったので広めて欲しい。
- ・今後もぜひこのようなすばらしい活動を続けてほしい。

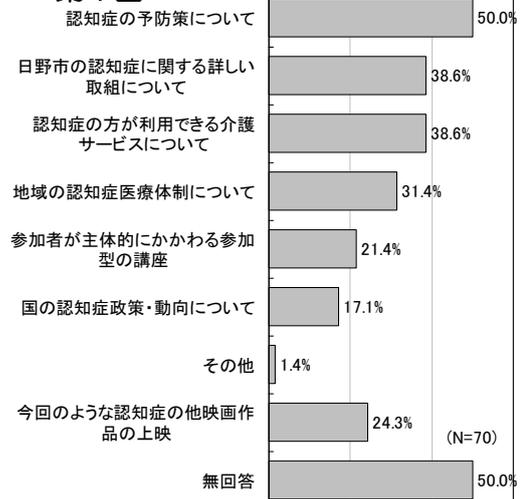
8. 「認知症を知る月間」の感想

第1回



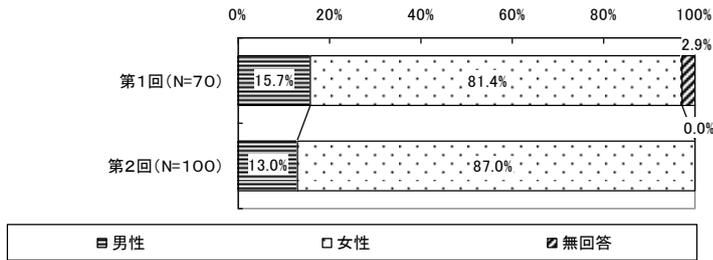
9. 今後の「認知症を知る月間」のイベント講座に期待する内容・テーマ

第1回

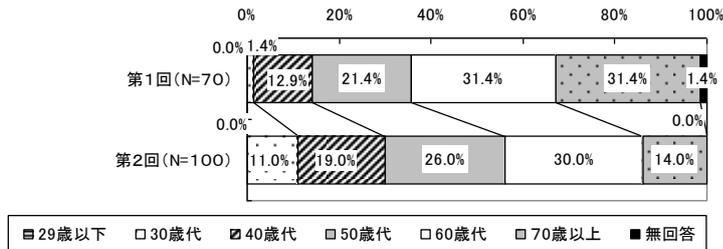


10. 属性

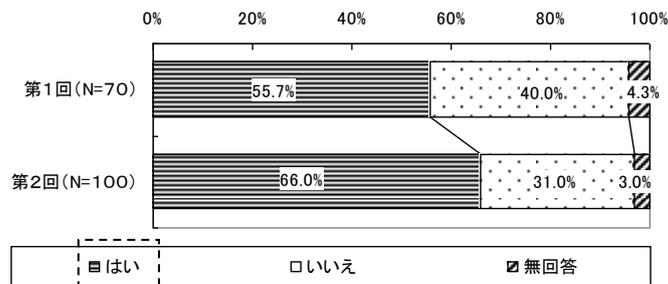
①性別



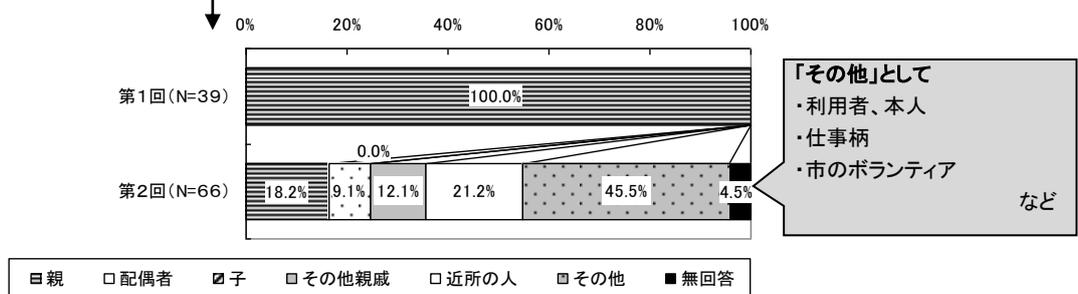
②年代



③あなたの身近（家族）の認知症の方の有無

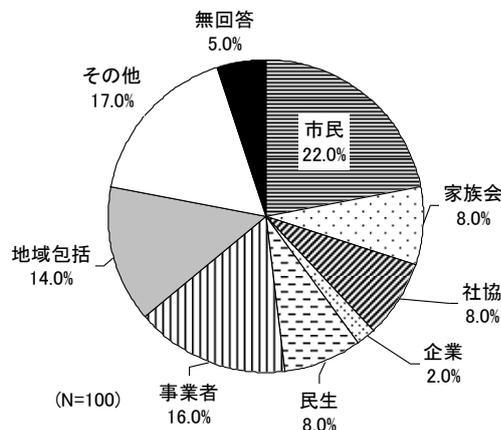


④あなたとの関係



⑤所属

第2回



2) 認知症サポーター養成講座

平成 18 年度より地域住民等を対象として毎年、認知症サポーター養成講座を開催しています。平成 26 年度より、社会全体で認知症の人を支える基盤として、認知症の人の視点に立って認知症への社会の理解を深めるために、「認知症を知る月間」の一環として、参加の対象とされている「地域住民・職域・学校・団体・企業などの従事者」に限らず公募方式で開催したところ、平成 27 年度は 120 名と多数の参加があり、昨年度よりも約 50 名増加しており、公募方式が好評である上、着実に新規参加者が増えていることがわかりました。

これらを合計した平成 27 年度の講座開催回数は 95 回、参加者数は 2,403 人となり、過去 4 年間に於いて最も参加者数が多くなりました。これまでの講座参加者数累計は 10,046 人となり、第 2 期日野市高齢者福祉総合計画で設定されたサポーター数の目標（平成 27 年度末時点で 7,500 人）を大幅に超える結果となっています。

具体的な事例を紹介していくことで、新たな活動へと繋げていくため、また、実践につなげるきっかけづくりとなるよう、認知症サポーター養成講座についてはプログラムの中にひの圏域包括支援センター職員による劇を取り入れ、認知症サポーターステップアップ講座については「認知症の方との接し方」についての講義ののち、現場職員による具体的な事例についてのパネルディスカッションを行いました。

認知症を知る月間において、認知症サポーター養成講座のなかで、ステップアップ講座を開催することも伝え、関心を持った方を、ボランティアにつなぐことを意識した構成としました。

■サポーター養成講座参加者内訳の推移 (平成 25 年度～平成 27 年度)



開催対象団体	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	受講者数	%	受講者数	%	受講者数	%
学校	328	38.6	589	37.3	638	26.6
企業・職域団体	233	27.4	407	25.8	1,032	42.9
行政関係	74	8.7	45	2.9	30	1.2
一般住民	214	25.2	537	34.0	703	29.3
※公募型	-	-	77	-	120	
合計	849	100.0	1,578	100.0	2,403	100.0

■講座の様子

【市民対象（公募方式による認知症サポーター養成講座）】



左：高齢福祉課による挨拶
右：講座

【民生委員を対象とした講座の様子】



【市職員対象とした講座の様子】



【中学生を対象とした講座の様子】



三沢中における講座の様子

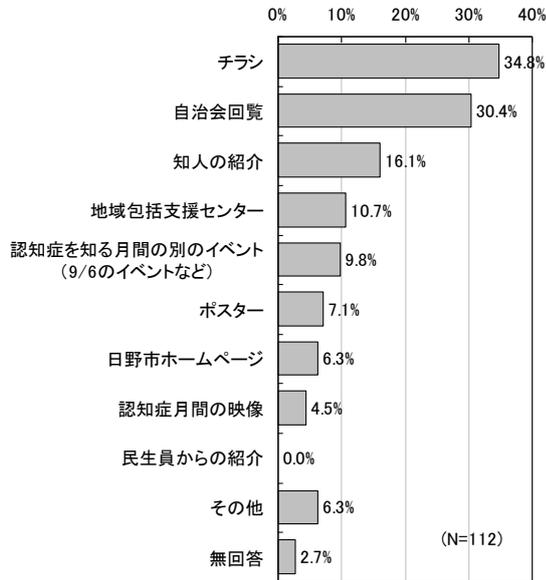
認知症サポーター養成講座 アンケート結果

【アンケート回収状況】

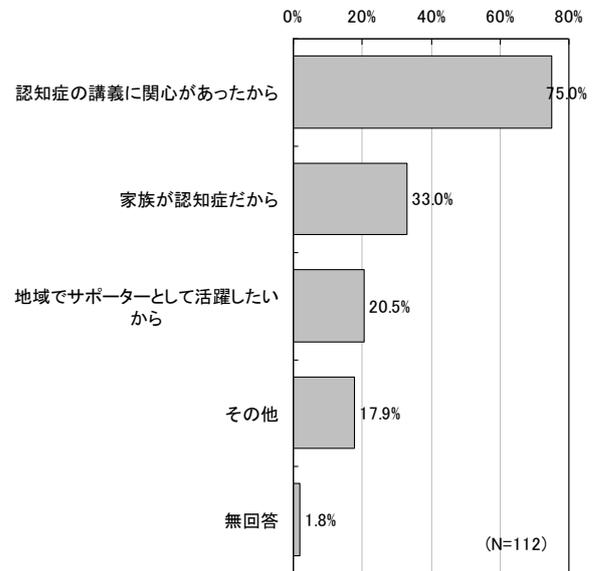
9月13日（日） 場所：イオンホール（イオンモール多摩平の森）

参加者数：120人 回収数：112枚 回収率：93.3%

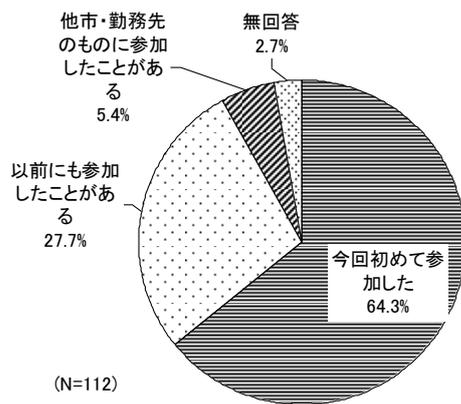
1. 講座を知った経緯



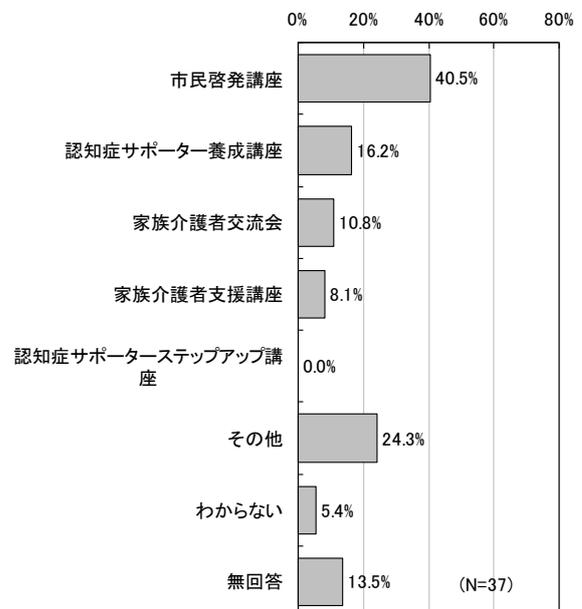
2. 参加動機



3. 日野市の認知症関連の講座等への参加経験の有無

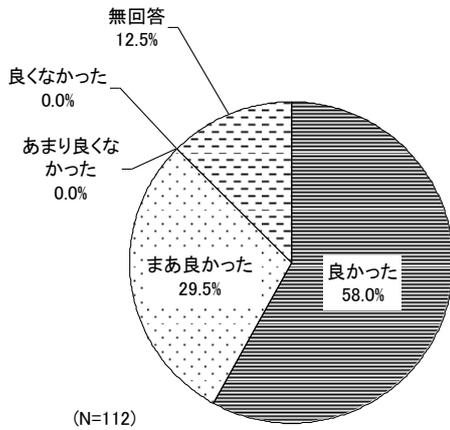


4. 参加したことのあるもの（複数回答）



5. 感想

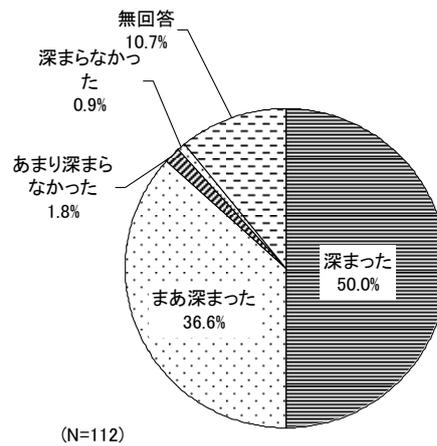
講座全体の内容について



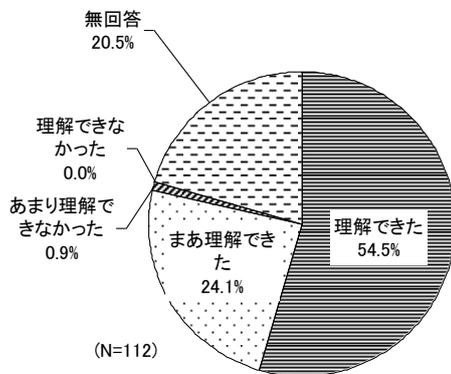
自由記述

- ・臨場感があってとても参考になった
- ・自分の気持ちを理解してもらえない不安がよくわかった
- ・察する気持ちの大切さを知った
- ・今まで体験したことがなかったので理解を深められた
- ・VTR 中のレジでの支払いはとても参考になった
- ・体験コーナーが良かった。他にはない
- ・A、Bに分かれてのジェスチャーは、勉強になった
- ・少しの勇気を実際に持てるようになっていきたい
- ・なかなか難しかった
- ・講義が長い
- ・10名程度の講義だったらよかった

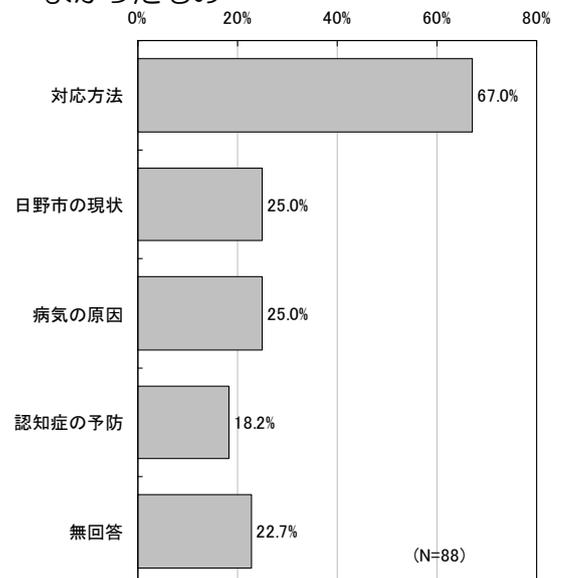
講座を通じた認知症についての理解



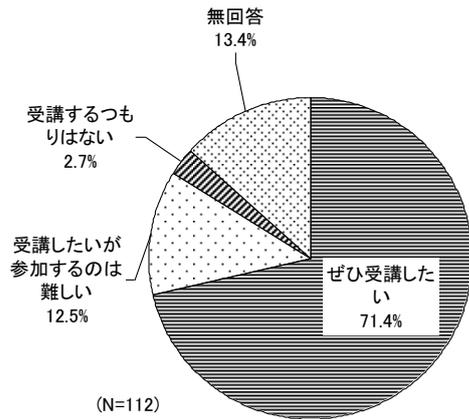
講座の内容のわかりやすさ



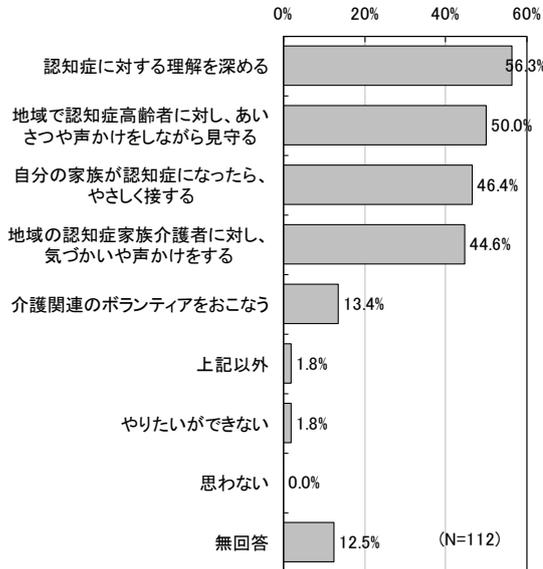
特に関心をもてたもの、理解できてよかったもの



6. ステップアップ講座への参加意向



7. 講座を通じてしてみたいこと

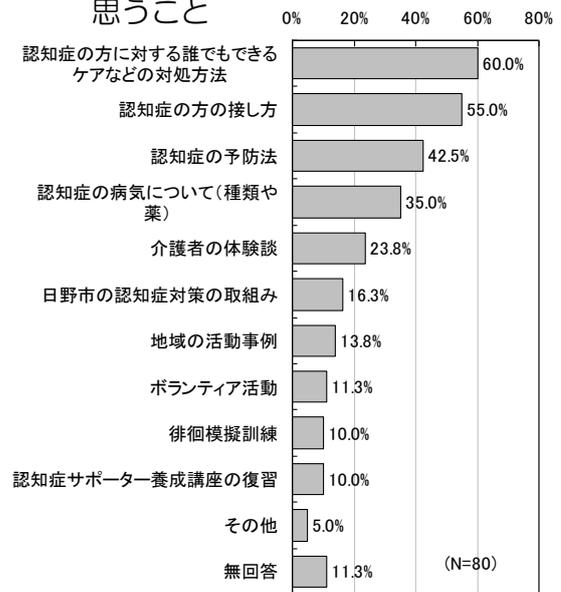


「認知症を知る月間」についての意見

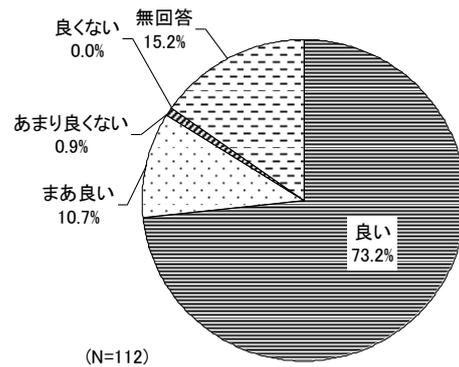
自由記述(主なご意見)

- ・多くの人(地域の方)に知ってもらえることは大事
- ・家族だけでは解決できない問題なので広くみんなに知ってもらい支えたい
- ・認知症を病気として正しく理解していただきたい。
- ・テーマがはっきりしているのに関心を向けやすい
- ・市民・職員・学生含む全ての人々が、この月間に関係できるような取組み、仕組みを
- ・もっと多くのPRをして欲しい
- ・相談や知識を得ることが出来るような情報があると良い
- ・地域サポーターがもっと増えると良い
- ・夜・休日に実施して欲しい
- ・年内通じて広く啓蒙活動をして頂きたい
- ・定期的にも実施していくとよい

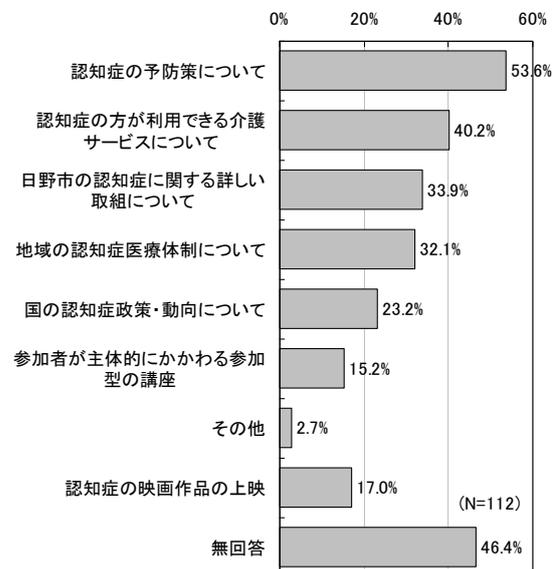
深く知りたい、詳しく知りたいと思うこと



8. 「認知症を知る月間」の感想

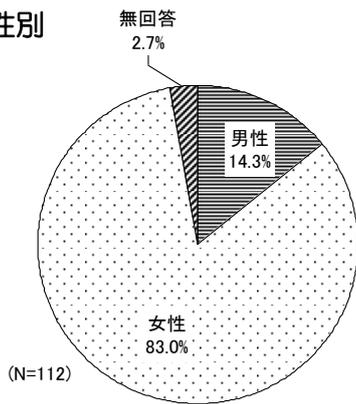


9. 今後の「認知症を知る月間」のイベント講座に期待する内容・テーマ

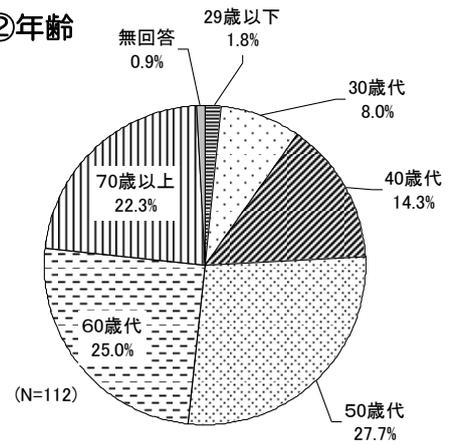


10. 属性

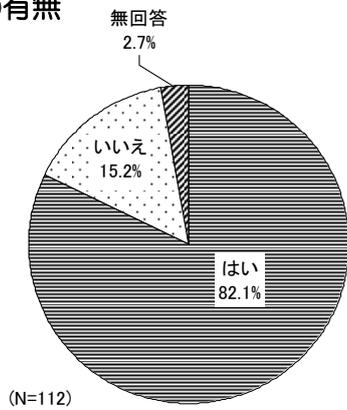
①性別



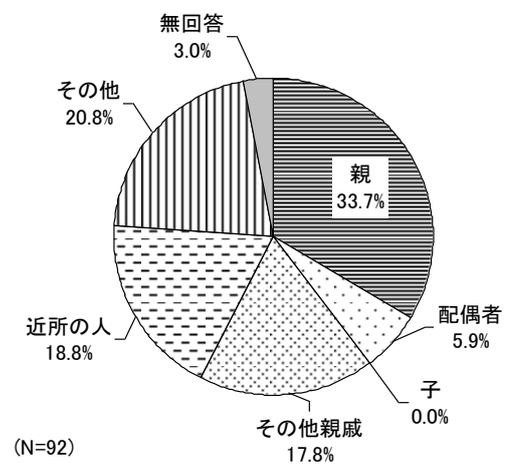
②年齢



③あなたの身近（家族）の認知症の方の有無



④あなたとの関係



■開催概要：（ステップアップ講座）

開催日時	平成27年9月24日（木）14:00～16:00
開催場所	イオンホールA・B（イオンモール多摩平の森3F）
実施主体	日野市高齢福祉課・地域包括支援センター
司会	本村 雄一 氏（地域包括支援センターあいりん）
参加者数	63名
プログラム （計120分）	1.開会 挨拶（5分） 2.講義（30分） 「認知症の方との接し方」 3.パネルディスカッション・質疑応答（55分） 「徘徊について」実情、行政サービス、対応の仕方等について 4 ボランティア・福祉の仕事の紹介（5分） 5.閉会（5分）



3) キャラバン・メイト連絡会

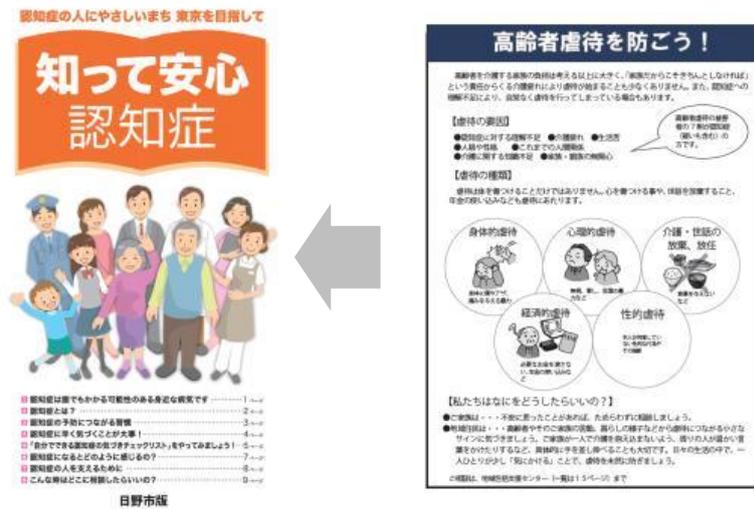
平成27年度は、さらなる認知症サポーター養成講座について、地域包括支援センター職員以外からの視点を取り入れることなどによって、内容のさらなる充実を図るため、当講座の講師役であるキャラバン・メイトの養成を検討いたしました。

今後も継続的に、日野市でのキャラバン・メイト養成研修および連絡会の開催について、市民啓発部会にて、キャラバン・メイトの啓発を行いながら検討していきます。

4) 虐待防止啓発

平成27年度は、「認知症を知る月間」のちらしを医師会、歯科医会、地域包括支援センター、庁内で配布したときに同封したほか、多職種連携推進研修、第二回市民啓発講座（社協共催の講演会）で資料の配布を行いました。また、「認知症を知る月間」においても、市役所・イオンモールのパネル展示にて啓発を行いました。

◆「知って安心認知症」に掲載



また、無関心層に対し広く啓発を行うための取組みの一貫として、市民啓発講座のほか第49回日野市産業まつりに出展し、2日間にわたり、パネル展示や風船を配布し啓発を行いました。当イベントでの出展で虐待防止啓発も同時に行いました。

認知症ブースへの来場者は大人191人、こども180人と、400人近くとなり、多くの市民でにぎわいました。子連れの方に対し、パネルや知って安心認知症等の紹介も行い、関心のうすい若い世代に啓発をすることができました。

開催日時	平成27年11月14日(土) 10:00~15:00 11月15日(日) 9:30~15:00
開催場所	ふれあいホール
実施主体	日野市高齢福祉課、地域包括支援センター
来場者	認知症ブースへの来場者 270人程度 (大人190人、こども180人) 産業まつりへの来場者数：50,000人程度

■日野市産業まつりの様子



左：展示ブース



右：「ロボ隊長を作ろう」

(4) 関係機関ネットワークの構築

【担当：多職種連携推進部会】

事業体系の「取組みの柱」、「3. 関係機関ネットワークの構築」については、下表の通り「取組みの柱」および「多職種連携研修」、「SOSネットワークの見直し検討」、「認知症高齢者を見守る仕組みの検討」の3つの「取組み」ごとに「対象」と「意図」および成果指標を設定しました。1年間の取組みの総合評価は「A」（達成した。十分な成果が得られた）という結果でした。

方針	認知症や虐待の問題を抱える高齢者が尊厳をもって地域で生活することができるよう、本人や家族を地域で支える体制づくりをさらに進めます
取組みの柱	3 関係機関のネットワーク構築

担当部会	多職種連携推進部会	記入者	一ノ瀬 剛
------	-----------	-----	-------

1 取組みのねらい

(1) 取組みの柱の「対象」と「意図」		
主な対象	(具体的な対象)	意図 (対象がどのような状態になっているか)
関係機関	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センター 医療関係者 商店 ケアマネジャー 公共機関 民生委員 金融機関等 弁護士等 介護保険事業所 地域住民 (新たな認知症ネットワークの対象者含) 学校 	顔の見える関係のもと、円滑な連携が行われている

(2) 取組みの「対象」と「意図」		
取組み (取組みの柱の意図を実現するための手段)	対象	意図
1) 多職種連携研修	関係機関	<ul style="list-style-type: none"> 顔の見える関係がある 対応力が向上している
2) SOSネットワーク見直し検討【※新規】	市・地域包括支援センター・関係機関・地域住民	マニュアル通りにSOSネットワークが運用されている
3) 認知症高齢者見守りネットワークの検討【※新規】	地域・関係機関	連携して見守りが行われている

2 成果指標

取組み	成果指標	単位	前年度実績	実績値
			H26	H27最終
1) ①	多職種連携研修で意図した目的を理解した割合	%	97.2	95.7
2) ②	SOSネットワークマニュアル改訂版の完成	-	-	△
3) ③	認知症高齢者を見守る仕組み素案完成	-	-	○

3 取組みの柱の点検

(1) 取組みの成果 (「取組みの柱の意図」に対してどのような成果があったか、箇条書きで簡潔に記入)	
【最終評価】	
<ul style="list-style-type: none"> ●第1回の研修は、金融機関を地域での連携に巻き込むことができた。第2回では徘徊発生時の連携方法や施策などの周知・対応力向上について考える良い機会となった。関係者同士の顔の見える関係づくりを促進できた。 ●SOSネットワークではマニュアル改定案を作成した。マニュアルに沿って運用が図れるよう研修を通じてCMへ周知できた。徘徊を防ぐための事前の見守り体制が不十分であることから、靴シールの導入を提案した。 	
(2) 次年度に向けた課題 (現状の懸案事項や新たに対応すべき課題等を箇条書きで簡潔に記入)	
【最終評価】	
<ul style="list-style-type: none"> ●26年度からの課題として挙げられていた「虐待の気づき研修は毎年行うべき」に対しては、社協と市のどちらかで実施できればよい。 ●多職種連携研修については、地域に密着した他では取り上げないようなテーマを今後も検討していく。 ●SOSネットワークのマニュアル改定と、地域で見守る仕組みの一つとして靴シールの導入および周知。 ●認知症サポーターの活用。 	
(3) 取組みの柱についての総合評価	
【最終】	
A	<ul style="list-style-type: none"> A : 達成した。十分な成果が得られた。 B : おおむね達成した。おおむね成果が得られた。 C : 目標達成までには至らなかった。期待した成果が得られなかった。

取組みの柱ごとに見ると、まず「多職種連携研修」については、多職種連携研修で意図した目的を理解した割合が平成26年度よりもわずかに下回るものの、100%に近い値となっています。また、様々な機関とのつながりを意識して、金融機関を対象者に含めるなど、取組みの意図に沿って実施できたという評価となっています。

続いて、「SOSネットワークの見直し検討」については、平成28年度に認知症の方の徘徊が発生した際に、迅速に身元確認ができるツールとして、「見守り靴シール」の導入を予定しているためSOSネットワークマニュアル改訂版の作成は見送りましたが、見守りの仕組みを検討するなど、取組みの体制を整備できたという評価となっています。

■事業検討におけるチェックリスト一覧■

■平成26年度からの課題		
①「多職種連携研修」 <ul style="list-style-type: none"> ・継続して取り組むことにより、関係性が深まる。 ・虐待の気づき研修は毎年行うべき。虐待の一步手前で関わられるよう、介護保険事業所の多くの職員を対象に開催 ・事業所の職員（現場の職員）が出席しやすい工夫が必要である。（時間帯など） ②「SOSネットワーク見直し検討」 <ul style="list-style-type: none"> ・運用に沿ったマニュアルの改訂。マニュアルの周知・徹底。 		
1) 多職種連携研修		
対象	関係機関	意図 ・顔の見える関係がある ・関係機関の対応力が向上している
■チェックリスト（視点、課題）【※下記は、H26多職種連携研修の視点・課題（参考）】		
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 新たな結びつきができたか <input checked="" type="checkbox"/> 2. 参加者が参加しやすい日時・場所の設定ができたか		
2) SOSネットワーク見直し検討 【※新規】		
対象	市・包括・関係機関・地域住民	意図 マニュアル通りにSOSネットワークが運用されている
■チェックリスト（視点、課題）		
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 家族、地域、ケアマネジャーに周知できたか □ <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事前登録者の見守りの仕組みづくりの検討ができたか <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事前登録者の情報更新ができたか <input checked="" type="checkbox"/> 4. 運用に沿ったマニュアルを作成できたか		
3) 認知症高齢者を見守る仕組みの検討 【※新規】		
対象	地域・関係機関	意図 連携して見守りが行われている
■チェックリスト（視点、課題）		
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 『見守り支援ネットワーク事業』との整理ができたか □ <input type="checkbox"/> 2. 認知症サポーターの活用ができたか		

1) 多職種連携研修

①第1回多職種連携研修：

「金融機関と地域の連携～お金の管理に不安のある認知症高齢者を支えるために～」

第1回多職種連携研修は、認知症高齢者の金銭管理の問題をきっかけに認知症の早期発見・支援に結びつける視点を学ぶこと、また、金銭管理に問題を抱えながら地域で暮らす認知症高齢者を支えるための連携方法を学ぶことを目的に、「金融機関と地域の連携～お金の管理に不安のある認知症高齢者を支えるために～」と題し、金融機関、民生委員、ケアマネジャー、権利擁護センター・日野（日野市社会福祉協議会）、地域包括支援センターを交えたグループワークを行いました。

研修の冒頭には、金融機関でよくある事例を発表した上で地域福祉権利擁護事業、成年後見制度の説明を行い、グループワークでは、「お金の管理が心配な高齢者」について、体験を共有しながら、解決方法を話し合いました。

アンケート結果から、「認知症高齢者や支援における関係機関との連携方法」について、95%が「理解できた」「だいたい理解できた」と回答しており、意図したとおりの成果がありました。

■開催概要：

開催日時	平成27年10月13日（火）18：30～ 20：30
開催場所	505会議室 8、9名×10テーブル
実施主体	日野市高齢福祉課
司会	一ノ瀬 剛 氏（地域包括支援センターせせらぎ）
参加者数	82名 （金融機関9名・民生委員27名・居宅介護支援事業所職員23名・社会福祉協議会2名・包括支援センター職員11名）
プログラム （計120分）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 高齢福祉課から挨拶・日野市の地域包括ケアシステムの実現に向けて（3分） 2. 事例発表（6分） 3. 地域で支えるための仕組み①地域福祉権利擁護事業（15分） 4. 地域で支えるための仕組み②成年後見制度（10分） 5. グループワークにあたっての注意事項（個人情報守秘義務） 6. グループワーク（60分） ステップ①「自己紹介」（15分） ステップ②「お金の管理が心配な高齢者」（45分） 7. グループ発表（15分） 3分×5テーブル 8. まとめの一言（1分） 9. 閉会 司会

■第1回研修の様子：



グループワークの様子

②第2回多職種連携研修

「徘徊高齢者を守るために ～徘徊高齢者SOSネットワークの活用～」

第2回多職種連携研修は、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所のケアマネジャーを対象に、認知症徘徊高齢者SOSネットワークの周知、認知症高齢者の徘徊を防止するための連携方法、徘徊発生時の連携方法について学びました。

研修会では、SOSネットワークの概要に関する説明、事例発表に続き、グループワークで、徘徊を防止する対策について議論を行いました。参加者からは、有意義な会であったと評価されました。

■開催概要：

開催日時	平成28年1月20日(水) 14:00 ~ 16:00
開催場所	505会議室 6名×9テーブル
実施主体	日野市高齢福祉課
司会	地域包括支援センターせせらぎ 一ノ瀬氏
参加者数	54名 (居宅介護支援事業所職員28名・市内地域密着型事業所職員6名・包括支援センター職員10名)
プログラム (計120分)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢福祉課挨拶(3分) 2. 日野市の状況と行政の対策(5分) 3. SOSネットワークの概要(15分) 4. 事例発表①(7分) ケアマネジャー 横川氏 5. 事例発表②(10分) 6. グループワーク(50分) ケアマネジャーが徘徊を未然に防ぐために工夫していること、行方不明であることを判断するポイント、SOS登録のタイミング、家族ができること、運用方法について 7. 発表(4分×5グループ) 8. まとめ(3分) 9. SOSネットワーク改定の予定・アンケートの実施について(5分) 10. 閉会

多職種連携研修 アンケート結果

【アンケート回収状況】 ※地域包括支援センター職員はアンケート対象から除く

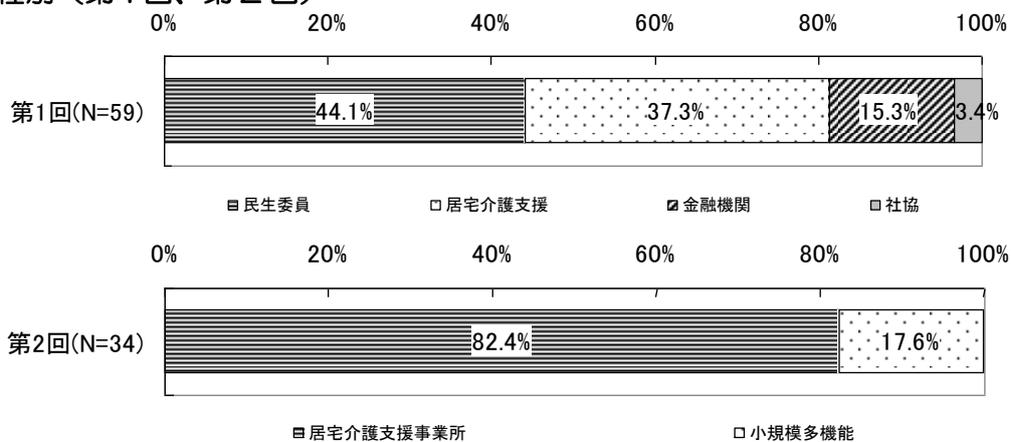
1. 第1回：「金融機関と地域の連携～お金の管理に不安のある認知症高齢者を支えるために～」

平成27年10月13日（火） 参加人数：72人 回収数：59枚 回収率：96.7%

2. 第2回：「徘徊高齢者を守るために ～認知症徘徊高齢者SOSネットワークの活用～」

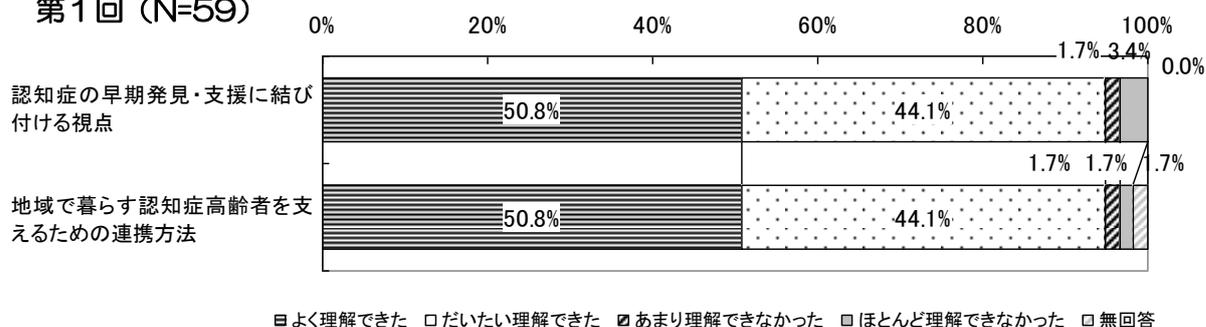
平成28年1月20日（水） 参加人数：45人 回収数：34枚 回収率：97.1%

1. 事業所種別（第1回、第2回）

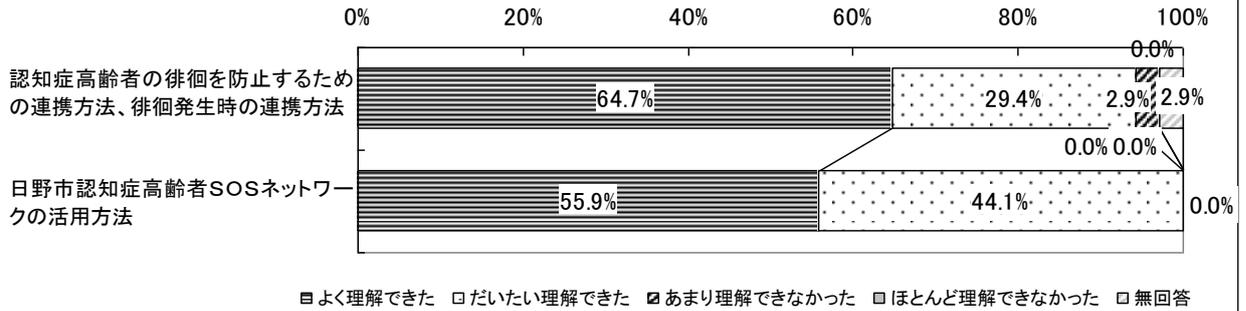


2. 講義を理解できたか

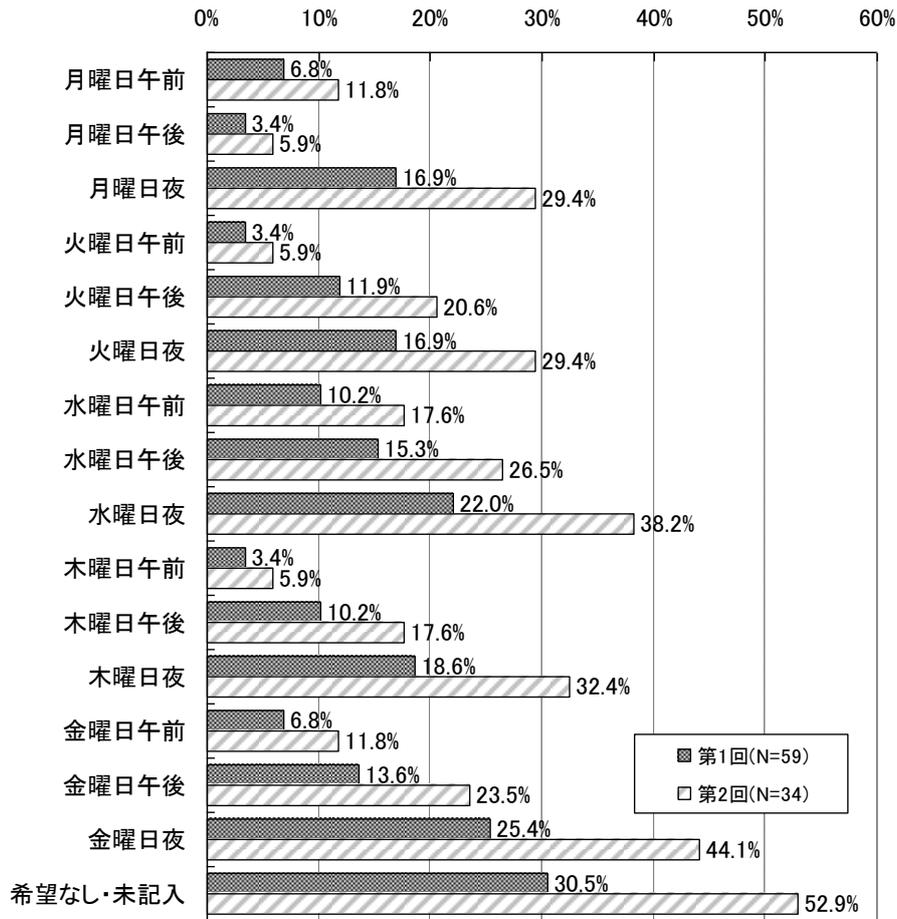
第1回（N=59）



第2回(N=34)



3. 参加しやすい曜日・時間帯 (第1回、第2回)



3) 認知症高齢者を見守る仕組みの検討

日野市では、地域にお住まいの方々、お店や事業所、地域包括支援センターが連携して、高齢者の様子の変化を早めに見つけ、速やかに対応するための取組みとして、高齢者見守り支援ネットワークを推進してきました。認知症等を有する高齢者については、介護している家族の負担は、認知症等を有さない高齢者の家族よりも負担感が高くなっており、認知症の方やその家族を地域で支えるための地域のネットワークが必要となっています。

また、高齢者見守りネットワークを利用する場合、あるいは見守りに協力する場合ともに、地域全体でさりげなく見守ることへの希望が最も多くなっています。

第2期日野市高齢者福祉総合計画策定時の調査の中で、家族の外出時における一時的な見守りサービスの拡充が必要であるという意見が81.8%挙がっています。

(第2期日野市高齢者福祉総合計画策定に向けた基礎調査報告書(介護支援専門員)総数44)

認知症高齢者を見守る仕組みの検討について方向性を決めるために、ブレインストーミングを行った結果介護保険につながっていない認知症の方の見守り体制を整える必要であるという意見が挙がりました。

また、認知症高齢者を介護している家族に意見を聴取したところ、買い物などによる見守りへのニーズが高いと同時に、信頼のおける人が必要であるといったご意見がありました。

これらを踏まえると、見守ってほしいことをカミングアウトできる地域づくりが必要であり、そのツールの一つとして靴シールの導入が役に立つのではないかという結論に至りました。次年度以降で活用方法等についてさらに踏み込んだ検討を行います。

また、認知症の方の見守り体制の確立に向けて、引き続きニーズを拾うとともに、在宅ケアサービス事業や傾聴ボランティアなどといった担い手の役割を明確にし、それぞれをどのようにつなげていくのか体制を整える必要があります。

4. 事業推進の成果と課題

(1) 事業評価

平成 27 年度の最終評価について、事業検討のチェックリストにおける合計値は、「市民啓発部会」が 90.0%で最も高く、次いで「多職種連携推進部会」が 87.5%、「家族支援部会」が 80.0%という結果でした。「最終評価」は「市民啓発部会」、「家族支援部会」が「B」（おおむね成果が得られた）、「多職種連携推進部会」が「A」（十分な成果が得られた）という結果でした（詳細については、p.68 を参照）。

■部会による一次評価/事務局による2次評価を経た評価結果

部会	成果指標、視点・課題の達成状況の合計値	総合評価
家族支援部会	80.0%	B
市民啓発部会	90.0%	B
多職種連携推進部会	87.5%	A

■事業評価シートから見える主な課題

部会	取組み	課題	解決策
家族支援部会	認知症地域資源情報の改訂	再度見直し 使い勝手のいい冊子タイプを検討する。	1. 認知症ケアパスの普及
市民啓発部会	キャラバン・メイト連絡会	ステップアップ講座受講者のフォロー	1. ステップアップ講座とのつなぎの共有 2. キャラバン・メイト連絡会の目的の確認 3. 担い手の確保

「家族支援部会」の事業検討のチェックリストの合計が低く総合評価がBとなった要因として、「認知症地域資源情報の改訂」の取組みが進まなかったこと、認知症を知る月間での「認知症カフェ」の開催において課題が多かったことが大きいと考えられます。

「市民啓発部会」において総合評価がBとなった要因としては「キャラバン・メイト連絡会」が未実施であったことが挙げられます。

取組みごとに見ると、まず「認知症地域資源情報の検討」については、認知症地域資源情報の全体の更新は行わず、日野市認知症ケアパスへ機能を統合させたため、実績が当初の評価項目に該当しない結果となりました。

また、「認知症カフェ」については、昨年度より多くの参加者があったものの、気軽に参加しづらい雰囲気があった。参加者における家族同士の交流が不足しているといった振り返りもありました。今後は対象の明確化と効果的な働きかけが必要となります。

「キャラバン・メイト連絡会」については、平成 27 年度は実施しないこととしま

した。今後、多様なキャラバン・メイトが誕生し、連絡会の必要性が生じるまでは、既存の会議等を利用しながら、効率的に情報共有を図っていきます。ステップアップ講座、キャラバン・メイト連絡会については、地域包括支援センター職員だけでなく多様な主体と連携することで地域の中でのリーダーを育成していく体制を整えていく必要があります。

多職種連携推進部会については、「認知症徘徊高齢者 SOS ネットワーク見直し検討」において、事前登録者の増加が予測される中で、今後はそれに対応できる仕組みづくりが不可欠となります。

いずれの部会においても、「認知症を知る月間」の開催やこれまでの取組みの蓄積、周知の成果もあって、認知症に関心をもつ市民が増えていますが、今後はそういった市民と共に活動していけるような受け皿づくり、協力体制の整備が必要となります。

さらに、認知症対策推進会議にて最終評価をもとに各取組みについて評価を行ったところ、下表の通り成果および課題が挙げられました。主な成果と課題は以下の通りです。

■認知症対策推進会議における意見①成果

取組み	成果
1) 認知症家族介護者支援講座	認知症への理解や関心を高めるようなテーマや講師の選定
2) 家族ニーズの把握	①効果的な手法によるニーズの把握 ②行政を越えた取組み
3) 認知症市民啓発講座	①家族の声を届けるなどの企画の工夫 ②他の月間イベントへのつなぎ ③市民への周知や集客
4) 認知症サポーター養成講座	①実践につなげる工夫 ②市民への周知や集客
5) 多職種連携研修	①実践につなげる工夫 ②認知症への理解や関心を高めるような内容・構成
6) SOS ネットワーク見直し検討	認知症への理解を高めるような工夫

■ 推進会議における意見②課題

取組み	課題
認知症カフェ	①対象が不明確 ②気軽に参加しにくい雰囲気 ③拡大につなげる工夫が必要
認知症地域資源情報の改訂	地域包括支援センターから必要という声が挙がった際に必要
キャラバン・メイト連絡会	①方向性・目的の検討が必要 ②担い手の確保が必要
虐待防止啓発	①広く市民に啓発する工夫が必要 ②実践につなげる工夫が必要 ③チラシ配布回数以外の適切な成果指標の検討
認知症高齢者を見守る仕組みの検討	事業を推進していくことが必要

(2) 次年度の方向性

平成 28 年度の方向性として、おおむね平成 27 年度の事業を継承しますが、新規事業として、「徘徊模擬訓練」を挙げていき、認知症対策推進会議にて基盤づくりを行った上で、部会で推進していくことが確認されました。

■ 次年度の方向性（事務局案）

項目	内容
1. 取組みの柱と取組み ○ ステップアップ取組み 認知症を知る月間対象取組み	1) 家族支援部会：①認知症家族介護者支援講座 ②家族ニーズの実施 ③認知症カフェの開設検討【新規】 ④認知症ケアパスの普及 2) 市民啓発部会：①認知症市民啓発講座 ②認知症の人を支える市民を育成する仕組みづくり ③高齢者虐待防止啓発 3) 多職種連携推進部会： ①多職種連携研修 ②SOSネットワークマニュアル改定 ③認知症高齢者を見守る仕組みの検討 ④徘徊模擬訓練【新規】
2. 運営体制	※日野市の認知症施策を推進するための協議検討の場として認知症対策推進会議を位置づけ、認知症対策推進会議で共有された事業の取組み方針・目標を踏まえた、各事業の企画、運営、実施を専門部会で行う。 1) 認知症対策推進会議：6回 2) 専門部会：10回程度

■平成27年度 認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業 最終評価結果

【事業評価】

部会名	事業	成果指標の達成状況(参考値)	チェック項目数	事業検討のチェックリスト				チェックリストの合計値	最終評価
				25	50	75	100		
家族支援部会	1) 認知症家族介護者支援講座	家族介護者支援講座で「理解を深められた」と答えた割合: 76.9%(H27)	4(4)	100	100	100	100	B	
	2) 認知症カフェ	認知症カフェの参加者数: 14人(H26)→26人(H27)	3(3)	100	100	100	100.0		
	3) 家族ニーズの把握	把握した家族のニーズから抽出した共通課題: 6個(H27)	1(1)	100	100	100	100.0		
	4) 認知症地域資源情報の検討	認知症地域資源情報(簡易版)の完成、発行部数: 記載なし	0(2)	-	-	-	-		
		合計	8(10)	80.0	80.0	80.0	80.0		
市民啓発部会	1) 認知症市民啓発講座	市民啓発講座で「理解が深まった」と答えた割合/意図した目的を理解した割合: 88.8%(H27)	2(2)	100	100	100	100.0	B	
	2) 認知症サポーター養成講座	認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の参加者数(年間): 1,578人(H26)→1,535人(H27/2月現在)	5(5)	100	100	100	100.0		
	3) キャラバンメイト連絡会	キャラバンメイト連絡会の開催回数: 1回(H26)→0回(H27)	1(2)	50	50	50	50.0		
	4) 虐待防止啓発	虐待防止啓発の回数(チラシ配布回数): 5回(H27)	1(1)	100	100	100	100.0		
		合計	9(10)	90.0	90.0	90.0	90.0		
多職種連携推進部会	1) 多職種連携研修	多職種連携研修で意図した目的を理解した割合: 97.2%(H26)→95.7%(H27)	2(2)	100	100	100	100.0	A	
	2) SOSネットワーク見直し検討	SOSネットワークマニュアル改訂版の完成: △	4(4)	100	100	100	100.0		
	3) 認知症高齢者を見守る仕組みの検討	認知症高齢者を見守る仕組み素案完成: ○	1(2)	50	50	50	50.0		
		合計	7(8)	87.5	87.5	87.5	87.5		

【算定根拠】
事業検討のチェックリストの数式: 対象指標(チェックリスト)の評価結果数値の合計/対象指標(チェックリスト)数の合計

【各部会による振り返り・評価シートによるまとめ】

部会名	事業	振り返り
家族支援部会	1) 認知症家族介護者支援講座	① 認知症への理解や関心を高めるような内容・構成だった ・ 関心の高いテーマと、今後ますます増える認知症対策に沿ったテーマで開催した。 ・ 講座の前半の「鈴の会」(認知症家族会)のお話で、新規の方の参加に結び付ける工夫を行った。
	2) 認知症カフェ	① 広く市民を集客したり周知する工夫が見られた ・ 時間、場所、職員配置、職員の動きなどにより参加しやすいイベントになるよう心掛けた。 ② グループホーム等協働による開催 ・ 本人も楽しめたか参加スタッフの感想を確認した。
	3) 家族ニーズの把握	① 取組みの意図に沿って実施できた ・ 家族交流会等のアンケートにより家族ニーズを参加者から把握し、共通課題を抽出し、施策へ反映できるかどうかを検討した。
	4) 認知症地域資源情報の改訂	① 取組みの内容に見直しが必要 ・ 「今後この地域資源情報が必要かどうか」を検討するため、各地域包括支援センターへアンケートを依頼した。 ・ 「認知症ケアパス」との関連も考慮し、認知症地域支援情報の見直しはせず、「認知症ケアパス」へとシフト変更することとした。
市民啓発部会	1) 認知症市民啓発講座	① 認知症への理解や関心を高めるような内容・構成だった ・ 市民の親しみやすい映画と芽吹きの会による講話を企画し、市民に合ったテーマ設定で講座を実施できた。 ② 広く市民を集客したり周知する工夫 ・ 会場・日時について改善を図った。 ③ 実践につなげる工夫 ・ 芽吹きの会のブースを設置し、行動にうつすきっかけづくりをした。
	2) 認知症サポーター養成講座	① 実践につなげる工夫 ・ ステップアップ講座を実施した。 ・ 社協ボランティアの登録受付や実際にボランティアから福祉の仕事をするきっかけとなった方の体験談の展示など、認知症を理解し、行動にうつすためのきっかけづくりにつながる仕掛けをおこなった。 ② 広く市民を集客したり周知する工夫 ・ 公募型の回数を増やして実施できた。 ③ 取組みの体制を整備することが必要 ・ 認知症サポーター養成講座とステップアップ講座の体制のつめきれていないところがある。
	3) キャラバンメイト連絡会	① 取組みの体制を整備することが必要 ・ キャラバン・メイト(認知症サポーター養成講座の講師役)が少ないこと、会議の乱立を防ぐことを考慮し、今年度は実施しないこととした。 ・ 申込書の導入を再検討する必要がある。 ・ キャラバン・メイトの養成については、28年度は市民、関係機関へ啓発を行う。 ・ 29年度にキャラバン・メイト連絡会をおこなう必要があるかどうか検討する。 ・ キャラバン・メイトの啓発の方法を検討し、早期に実施する必要がある。
	4) 虐待防止啓発	① 広く市民を集客したり周知する工夫 ・ 認知症に関わるイベントでちらしによる啓発を5回おこなった。 ・ 産業まつりに出展し、若者世代(20~30代)にも啓発できた。 ② 取組みの体制を整備することが必要 ・ 産業まつりは費用、人員対効果が低かった。
多職種連携推進部会	1) 多職種連携研修	① 取組みの意図に沿って実施できた ・ サポーター養成講座の実施につながった。 ・ SOSの周知、徘徊を防止する対策、発生時の対応を考える機会となった。 ・ 金融機関を対象とした研修を開催し、新たな「顔の見える関係づくり」を促進することができた。 ・ 他機関で開催している研修と重複しないようなテーマ設定を行った。 ② 認知症への理解や関心を高めるような内容・構成 ・ 他の研修で取り上げていないテーマや対象者を取り上げる必要がある。
	2) SOSネットワーク見直し検討	① 取組みの体制を整備した ・ 研修を通じてCMIに周知できた。 ・ 改定のポイントと改定案をまとめた。 ・ 靴シールを導入することを提案した。
	3) 認知症高齢者を見守る仕組みの検討	① 取組みの体制を整備した ・ 他自治体の仕組みを比較して検討した。 ・ 既存の事業やボランティアでどこまで対応できるかヒアリングを実施した。

【資料編】

(1) 日野市の虐待受付状況

平成18年度に作成した「日野市高齢者虐待対応・防止マニュアル」に基づき、養護者による虐待として地域包括支援センターが受け付けた虐待件数は以下の通りとなっており、平成27年度では45件発生しています。また、養介護施設従事者等による虐待は、平成27年度では2件発生しています。

養護者による虐待(単位：件・人)

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
相談・通報受理件数 (受理件数の内、夫婦件数)		17 (1)	24 (1)	21 (4)	35 (3)	24 (2)	30 (1)	19 (1)	40 (1)	42 (2)
当該年度以前からの継続対応件数										14 (0)
虐待認定件数		17 (1)	24 (1)	21 (4)	35 (3)	24 (2)	30 (1)	19 (1)	26 (0)	32 (2)
虐待の種別・類型 (重複有)	身体的虐待	13	16	16	24	18	19	10	17	20
	介護・世話の放棄、放任	3	7	1	2	7	6	5	4	5
	心理的虐待	6	14	9	20	15	8	3	11	13
	性的虐待									
	経済的虐待	3	9	7	8	7	6	7	7	10
	セルフネグレクト									
被虐待者性別	男性	6	1	7	8	6	8	2	4	12
	女性	12	24	18	30	20	23	18	22	22
	合計	18	25	25	38	26	31	20	26	34
被虐待者の年齢	64歳以下			1	1	1			1	
	65～69歳	3	3	2	5	3	1			2
	70～74歳		7	6	3	5	4	5	3	4
	75～79歳	7	1	6	12	4	4	5	7	6
	80～84歳	4	7	5	10	6	12	8	5	13
	85～89歳	2	4	4	5	4	4	1	6	8
	90歳以上	2	3	1	2	3	6	1	4	1
	合計	18	25	25	38	26	31	20	26	34
被虐待者から見た 虐待者の続柄 (重複有)	夫	3	5	4	11	7	5	6	5	7
	妻	3	1	1	1	3	4		2	1
	息子	6	8	11	14	7	13	9	10	13
	娘	4	7	4	9	4	7	3	4	8
	息子の配偶者(嫁)	2				1		1		
	娘の配偶者(婿 内縁を含む)	1		1	1					
	兄弟姉妹				1				1	1
	孫		3		1	2	1		2	1
不明(特定できず)				1				2	3	

施設従事者による虐待(単位：件・人)

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
相談・通報受理件数								3	3	4
虐待認定件数								3	2	2
業種別	居宅介護支援事業所									
	訪問介護							1		1
	通所介護									1
	特別養護老人ホーム							1	1	
	ショートステイ									
	介護老人保険施設								1	
	小規模多機能							1		
	グループホーム									
	特定施設									
虐待の種別・類型 (重複有)	身体的虐待							1	1	
	介護・世話の放棄、放任									
	心理的虐待								2	1
	性的虐待									1
経済的虐待							2			

(2) 日野市の徘徊対応状況

「認知症高齢者SOSネットワークマニュアル」に基づき、家族等から地域包括支援センターに連絡があった件数は以下の通りとなっており、徘徊者の実数は昨年度より減少しました（平成21年度より集計）。家族等から警察に直接通報され、地域包括支援センターに連絡がなかった場合もあるため、実際には集計よりもさらに多くの徘徊が発生していると推測されます。また、SOS ネットワーク事前登録者数、メール配信登録者数ともに年々増加しており、平成28年度末でそれぞれ277人、7,630件となっています。

1) 平成21年度～平成27年度

徘徊対応状況		(単位：人)							
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
徘徊者数(実人数)	人数	21	26	35	42	30	24	36	
	性別	男性	10	14	16	19	12	15	11
		女性	11	12	19	23	18	9	25
	年齢	～69歳	0	2	6	1	1	3	2
		70～74歳	4	2	4	3	4	1	4
		75～79歳	5	9	10	19	10	10	11
		80～84歳	7	5	13	11	6	5	13
	85歳以上	5	8	2	8	9	5	6	
延べ徘徊発生数	発生件数	31	31	52	49	41	32	45	
	防災無線利用	2	5	1	3	0	1	0	
	警察へ通報	13	20	38	30	34	26	29	
	Eメール利用			9	9	16	15	12	
発見数		31	31	52	49	41	32	45	
	1時間以内	13	7	19	14	4	8	13	
	3時間以内	7	7	13	14	9	3	9	
	6時間以内	0	3	8	5	7	7	4	
	12時間以内	4	4	3	3	6	6	9	
	24時間以内	2	2	3	6	10	2	3	
	24時間以上	0	3	1	3	2	1	2	
	不明	5	5	5	4	3	5	5	
発見できていない数	0	0	0	0	0	0	0		

【参考】

(上段単位：人)

SOSネットワーク事前登録者数及びメール配信登録者数(推計)							
	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末
事前登録者数	42	81	129	167	195	237	277
メール配信登録者数 (推計)		2,120件	5,850件	5,910件	5,853件	6,836件	7,630件

2) 平成 27 年度 (地域包括支援センター別)

(単位：人)

		もぐさ	あさかわ	すてつぷ	あいりん	せせらぎ	多摩川苑	いきいき タウン	すずらん	かわきた	計
徘徊者数(実人数)		2	4	1	12	1	7	3	4	2	36
性別	男性	1	2	1	5	0	2	0	0	0	11
	女性	1	2	0	7	1	5	3	4	2	25
年齢	～69歳	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	70～74歳	0	0	0	0	0	1	1	2	0	4
	75～79歳	2	2	1	3	0	0	1	2	0	11
	80～84歳	0	2	0	6	1	3	0	0	1	13
	85歳以上	0	0	0	3	0	1	1	0	1	6
延べ徘徊発生数		2	4	1	14	1	10	3	5	5	45
防災無線利用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警察へ通報		2	3	1	10	1	7	1	2	2	29
Eメール利用		1	2	0	3	0	4	1	0	1	12
発見数		2	4	1	14	1	10	3	5	5	45
1時間以内		0	2	0	5	0	4	0	1	1	13
3時間以内		1	0	0	3	0	0	3	2	0	9
6時間以内		0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
12時間以内		1	1	1	1	0	2	0	1	2	9
24時間以内		0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
24時間以上		0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
不明		0	0	0	0	0	2	0	1	2	5
発見できていない数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 平成 27 年度までの取組み

【認知症高齢者支援】

①認知症家族介護者交流会 (専門相談会)	【内容】認知症の人とその家族の支援を目的とした交流会								
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
	6回	交流会 16回/ 専門講座 2回	18回	20回	20回	20回	21回	28回	
②認知症サポーターの養成講座	【内容】市民や企業・職域団体、高校生等を対象とした認知症サポーター養成講座(平成25年度までは各圏域開催。平成26年度より、各圏域+公募型)								
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
	22回	24回	31回	23回	45回	46回	31回	36回 +公募 1回	89回+ 公募6 回
③認知症サポーターステップアップ講座	【内容】認知症サポーターのレベルアップを図る講座 【実績】H20 1回・H27 1回開催								
④高齢者SOSネットワーク構築に向けた取り組み	【内容】徘徊により行方不明となった高齢者の検索・保護の体制づくり								
	H20	H21			H24	H26	H27		
	マニュアル案の作成	i SOSネットワーク会議(計7回開催) ii 「徘徊高齢者検索マニュアル」作成 iii Eメールの一斉配信システムの整備(※徘徊発生時の情報を市民に広く周知する手段)			SOSネットワーク見直し検討 →周知啓発	SOSネットワーク普及啓発	SOSネットワークの見直し検討		
⑤認知症予防啓発パンフレット	【内容】H21 認知症の予防啓発を目的としたパンフレットの作成及び医療機関等での配布 H26 「知って安心認知症」の作成・配布 H27 「知って安心認知症」の配布								
⑥認知症地域資源マップ作成	【内容】認知症高齢者や介護者の介護負担軽減等に資する地域資源マップの作成(※H25は地域包括支援センター・市が活用するデータベース作成)								
	H22	H23・H24		H25	H26	H27			
	マップ原案作成のための検討会 (3回)	マップ作成のための検討会開催 (4回)		データベース作成のための検討会開催	DB活用状況の検証(部会) (1回)	認知症地域資源情報の活用(部会)			

⑦認知症家族介護者支援講座の開催	【内容】認知症高齢者を介護する家族に対し、専門知識の習得や専門家への相談ができる機会を設けるための講座				
	H23	H24	H25	H26	H27
	2回催	2回開催	2回開催	2回開催	1回開催
⑧認知症啓発講座の開催	【内容】市民を対象にした、認知症の理解を広めるための講座				
	H23	H24	H25	H26	H27
	2回開催	2回開催	1回開催	1回開催	2回開催
⑨介護サービス従事者研修 →H26 より多職種連携研修	【内容】(H22～H25) 介護サービス従事者を対象とした、認知症および虐待防止の理解の促進および対応の向上を目的とした研修 (H26～) 認知症高齢者支援や虐待防止における、地域の顔の見える関係づくりを目的とした研修				
	H23	H24	H25	H26	H27
	4回開催	2回開催	2回開催	3回開催	2回開催
⑩関係機関連絡会の開催 →H25 で終了	【内容】困難ケースや虐待ケースに対し、スムーズな対応が図れるよう、関係機関との連携の促進を図る				
	H22	H23	H24	H25	
	2回開催	3回開催	2回開催	2回開催	
⑪認知症高齢者支援・高齢者虐待防止推進会議の開催	【内容】地域包括支援センターと市による認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業の企画・推進のための会議（H27 より認知症対策推進会議に名称・役割とも変更） ・認知症ケアパスの作成、早期発見・早期治療の仕組みづくりの検討				
	H23	H24	H25	H26	H27
	8回開催	3回開催	3回開催	3回開催	12回開催

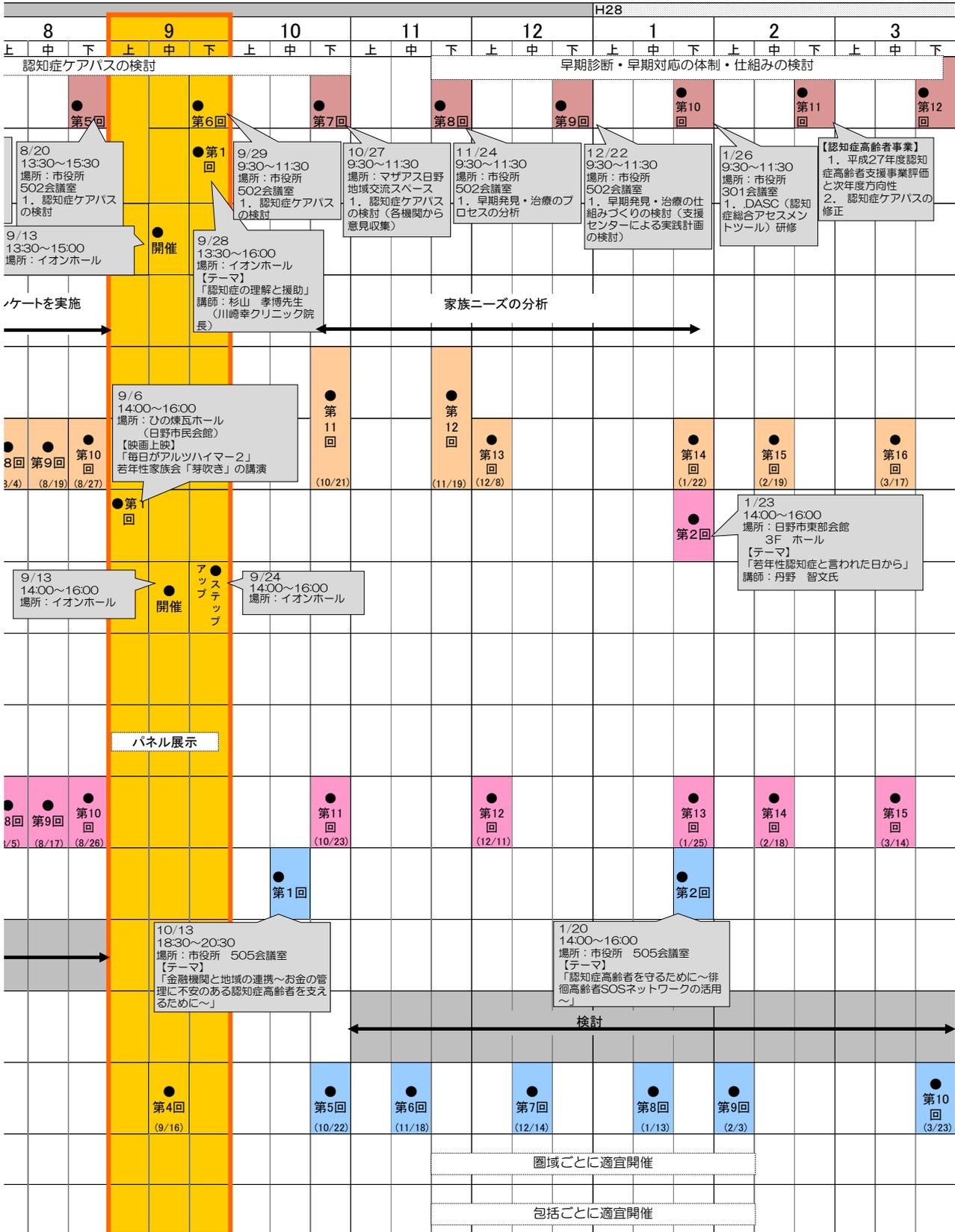
【高齢者虐待防止対策】

① 高齢者虐待防止にかかわる検討・対策会議	【内容】虐待対応のネットワーク構築の検討			
	H19	H20	H21	
	高齢者虐待防止対策会議 (5回開催)	高齢者虐待防止検討会議・事例検討会 (4回開催)	高齢者虐待防止検討会議 (3回開催)	
② 高齢者虐待防止勉強会	【内容】関係機関職員を対象とした勉強会 H19 年1回開催 H26 年1回			
③ 関係者研修	【内容】関係機関職員を対象とした家族支援及び人材育成			
	H19	H20	H21	H26
	4回開催	3回開催	1回開催	2回開催
④ ケアプラン指導研修・専門相談会	【内容】ケアマネジャーと管理者を対象とした研修・専門相談会			
	H19		H20	
	ケアプラン指導研修 (3回開催)		ケアプラン専門相談会 (4回開催)	
⑤ 虐待防止啓発講演会	【内容】一般市民、民生委員等を対象とした講演会			
	H19	H20	H23	
	一般市民・民生委員を対象に開催 (1回)	一般市民を対象に開催 (1回)	民生委員を対象に開催 (1回)	
⑥ 高齢者虐待に関する啓発	【内容】H19 認知症及び高齢者虐待に関する啓発パンフレット作成 H25 虐待防止啓発のちらし作成(自治会回覧等) H26 虐待防止啓発(サポーター養成講座等における周知等) H27 虐待防止啓発(イベントでのチラシ配布)			
⑦ 日野市高齢者虐待対応・防止マニュアル	【内容】対応の流れや帳票類を定めたマニュアルの作成 H18:作成 H19:改訂 H20:改訂 H21:改訂 H24:改定に向けた見直しポイントの整理 H25:マニュアルの改訂 H26:マニュアルの改訂 H27:マニュアルの改訂			

(4) 年間スケジュール

H27 認知症高齢者支援(高齢者虐待防止対策)事業 年間スケジュール

取組み	内容	H27											
		4			5			6			7		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1. 事業の推進	(1) 認知症対策推進会議			● 第1回		● 第2回				● 第3回			● 第4回
2. 認知症高齢者および家族介護者の支援体制の整備	(1) 認知症家族介護者支援講座	4/30 9:30~11:30 場所:市役所 501会議室 1. 日野市における地域包括ケアシステムの構築~目指す姿の検討~ 2. スケジュールの検討											
	(2) 認知症カフェ	5/19 9:30~11:30 場所:市役所 501会議室 1. 平成27年度認知症高齢者支援事業の方向性の決定 2. 「認知症を知る月間」の開催検討											
	(3) 家族ニーズの把握	6/23 9:30~11:30 場所:市役所 301会議室 1. SOSネットワークの充実に向けた展開について 2. 認知症ケアパスの検討											
	(4) 認知症地域資源情報の検討	7/28 9:30~11:30 場所:市役所 502会議室 1. 認知症ケアパスの検討											
	■ 家族支援部会	年10回程度				● 第1回 (5/15)	● 第2回 (6/2)	● 第3回 (6/15)	● 第4回 (6/22)	● 第5・6回 (7/1・8)	● 第7回 (7/27)	● 第8回 (8/4)	
3. 一般市民に対する認知症・虐待防止等の理解促進	(1) 認知症啓発講座	合同部会											
	(2) 認知症サポーター養成講座	公募型(2回)											
	(3) キャラバンメイト連絡会	年1回、2時間程度											
	(4) 虐待防止啓発	随時											
	■ 市民啓発部会	年10回程度				● 第1回 (5/15)	● 第2・3回 (6/2・11)	● 第4回 (6/18)	● 第5回 (6/22)	● 第6回 (7/3)	● 第7回 (7/29)	● 第8回 (8/5)	
4. 関係機関のネットワーク構築	(1) 多職種連携研修	年2回、各回2時間程度											
	(2) SOSネットワークの見直し検討	年3回、各回2時間程度											
	(3) 認知症高齢者を見守る仕組みの検討	年3回、各回2時間程度											
	■ 多職種連携推進部会	年10回程度						● 第1回 (6/1)	● 第2回 (6/16)	● 第3回 (7/9)			
部会外の認知症施策・取組み	(1) 認知症家族介護者交流会	生活圏域ごとに適宜開催											
	(2) 認知症サポーター養成講座	地域包括支援センターごとに適宜開催											



(5) イベント等のちらし

① 認知症を知る月間（ポスター）

日野市
認知症を知る月間
9月
みんなで広げよう！
地域の輪

1 ※「毎日がアルツハイマー2」
映画上映会*と
若年性認知症家族会
のお話
～認知症になってもいきいきと！～
9/6(日)
14:00-16:00
場所：ひの俵瓦ホール
(市民会館) 小ホール

2 
認知症サポーター養成講座
9/13(日)
10:30-12:30 場所：イオンホール
認知症サポーター
ステップアップ 講座
9/24(木)
14:00-16:00
場所：イオンホール

3
認知症カフェ
～認知症のひと・家族・認知症に
関心のある方による交流～
9/13(日)
13:30-15:00
場所：イオンホール

4 認知症
家族介護者支援講座
「認知症の理解と援助」
杉山孝博先生 (川崎幸クリニック院長)
9/28(月)
13:30-16:00
場所：イオンホール

■お問合わせ先：日野市健康福祉部高齢福祉課（042-585-1111）
平成27年度日野市認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業

日野市「認知症を知る月間」



② 認知症を知る月間 (ちらし)

日野市

平成 27 年度 日野市認知症高齢者支援 (高齢者虐待防止対策) 事業

認知症を知る月間

～みんなで広げよう！地域の輪～

2015年
9月企画



日野市では、様々な認知症施策を推進し、身近に感じられるような取り組みを推進してまいります。

1 映画上映会と若年性認知症家族会のお話
～認知症になってもいきいきと！～



出典：長編映画『毎日がアルツハイマー2』公式サイト

9月6日(日)

映画上映！

時間：14:00～16:00 (開場 13:30)
場所：ひの煉瓦ホール (市民会館) 小ホール

2 認知症サポーター
養成講座

9月13日(日)

時間：10:30～12:30 (開場 10:00)
場所：イオンホール
(イオンモール多摩平の森3F)



3 認知症カフェ



続けて開催

時間：13:30～15:00 (開場 13:00)
場所：イオンホール
(イオンモール多摩平の森3F)

4 認知症サポーター
ステップアップ講座



9月24日(木)

時間：14:00～16:00 (開場 13:30)
場所：イオンホール
(イオンモール多摩平の森3F)

5 認知症家族介護者支援講座

「認知症の理解と援助」

杉山孝博先生 (川崎幸クリニック院長)



9月28日(月)

時間：13:30～16:00 (開場 13:00)
場所：イオンホール
(イオンモール多摩平の森3F)

2015年9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

6 その他

9月10日(木)

● 無料医療相談会 場所：多摩平交流センター

9月1日(火)～9月30日(水)

● 図書館での関連書籍の紹介

● パネル展 (市役所の展示は9月25日まで)

イベントの詳細は次ページへ

日野市 「認知症を知る月間」

1 映画上映会と若年性認知症家族会のお話 ～認知症になってもいきいきと！～

認知症のイメージを変え、日本中に元気と笑顔をもたらす！帰って来る！あの家族が



この家族に希望をもらおう。

出展：「長編映画『毎日ガアルツハイマー2』公式サイト

9月6日(日)

時間：14:00～16:00 (開場 13:30)
場所：ひの煉瓦ホール (市民会館) 小ホール

対象：
市内在住・在勤・
在学の方

- ◆「毎日ガアルツハイマー2」映画上映
認知症の母・ひろこさんの生活を追ったドキュメンタリー映画「毎日ガアルツハイマー」の続編を上映します。認知症の母との生活の中で、関口監督が学んだケアとは…?
- ◆若年性認知症家族会「芽吹き」のお話
日野市で活動している「芽吹き」から、地域の皆さんへのメッセージをいただきます。

【定員 170 名・申込順、無料】

2 認知症サポーター養成講座

あなたも、サポーターになりませんか？



9月13日(日)

時間：10:30～12:30 (開場 10:00)
場所：イオンホール (イオンモール多摩平の森3F)

対象：
関心のある方

「認知症サポーター養成講座」では、認知症の基礎知識を学びます。認知症の方へのちょっとした気遣いや声かけなど、地域でのさりげない見守りができるサポーターになりませんか？

講座を修了された方には、「オレンジリング」(写真)を差し上げます。



【定員 250 名・申込順、無料】

3 認知症カフェ

おしゃべりを楽しみながら、交流しませんか？



9月13日(日)

時間：13:30～15:00 (開場 13:00)
場所：イオンホール (イオンモール多摩平の森3F)

対象：
・関心のある方
・認知症の方と
そのご家族

認知症の方やその家族、認知症に関心のある方がおしゃべりをしながら交流するカフェを開催します。カフェでは、飲み物のほか、市内在住の認知症の方が心を込めた手作りクッキーもご用意してお待ちしております。

ふるってご参加下さい！

※認知症の方が利用しやすい介護保険サービスも紹介しています。

【申込み不要】

」のイベントへのご案内

4 認知症サポーター ステップアップ講座



認知症の方への
接し方を
身につけませんか？

9月24日(木)

対象：
認知症サポーター
養成講座受講者

時間：14:00～16:00（開場 13:30）
場所：イオンホール（イオンモール多摩平の森3F）

◆講義

これまで「認知症サポーター養成講座」を受講された方を対象として、「認知症の方への接し方」をテーマに、認知症に対する理解を深めます。

◆パネルディスカッション

ケアマネジャー、地域包括支援センター、家族の方などがパネリストとなり、具体的な事例をもとに対処方法について参加者の皆さんと議論を行います。

【定員 50 名・申込順、無料】

5 認知症家族介護者支援講座



目からウロコの
介護方法を
お教えします！

9月28日(月)

対象：
・認知症の方の家族
・関心のある方

時間：13:30～16:00（開場 13:00）
場所：イオンホール（イオンモール多摩平の森3F）

◆講座：「認知症の理解と援助」

杉山孝博先生 川崎幸クリニック院長

長年、地域医療や認知症治療に取り組まれてきた杉山先生より、「認知症をよく理解するための9大原則・1原則」、「認知症の原因・治療と予防」、「認知症になったら？～地域で支える輪」をテーマにお話しいたします。

◆「鈴の会」（認知症家族会）のお話

日野市で活動して22年、家族とともに歩んできた道のりをお話しいたします。

【定員 250 名・申込順、無料】

6 その他



無料医療相談会

図書館での
関連書籍
の紹介

パネルの展示

9月10日(木) 13:30～16:00 場所：多摩平交流センター

◆無料医療相談会

神経内科の医師による個別相談会を開催します。
最近、物忘れや転びやすくなったことが気になる方、ぜひご相談ください。

※電話での受付時に受診の時間をご案内します。

【定員 12 名・申込順、無料】

9月1日(火)～9月30日(水)

◆図書館での関連書籍の紹介

◎対象図書館：日野図書館、多摩平図書館

◆認知症啓発パネルの展示

◎日野市役所1階（9月25日まで）

◎イオンモール多摩平の森（2F 無印良品前）

申込みは裏面へ

FAX送信：
042-583-4198
日野市役所
高齢福祉課在宅サービス係宛

日野市「認知症を知る月間～みんなで広げよう！地域の輪～」 申込書

※参加申し込みを希望される方の氏名・電話番号を記入し、参加講座に「○」をつけてください。

9月1日（火）から申込受付開始

フリガナ 氏名 (電話番号) *お電話番号を忘れずに記入して下さい。	9/6(日) 14:00-16:00 映画上映会と 若年性認知症の 家族会のお話 ～認知症になっ てもいきいきと！～	9/13(日) 10:30-12:30 認知症サポーター 養成講座	9/24(木) 14:00-16:00 認知症サポーター ステップアップ 講座	9/28(月) 13:30-16:00 認知症家族介護 者支援講座 「認知症の理解 と援助」
(記入例) 氏名：日野 花子 (TEL：042-585-0000)	○	○		
1 氏名： (TEL： - -)				
2 氏名： (TEL： - -)				
3 氏名： (TEL： - -)				

キリトリ線

無料医療相談会

■ 9月10日（木）無料医療相談会
～認知症やパーキンソン症状のある方へ～

9月1日（火）から申込受付開始

※参加を希望される方は、以下までお電話ください。

地域包括支援センターあいりん
電話：042-586-9141



1. イオンモール多摩平の森
※JR豊田駅北口から徒歩3分

2. ひの煉瓦ホール（市民会館）小ホール
※JR中央線 日野駅下車 徒歩15分またはバス
※私鉄京王線 高幡不動駅からバス

※駐車場には限りがございます。なるべく、公共交通機関でお越しください。

【申込み・問合せ】 参加を希望される方は、電話またはFAXでお申込みください。

※番号はお間違いのないようご注意ください。

日野市役所 高齢福祉課在宅サービス係 電話：042-585-1111（内線2421～2423）
FAX：042-583-4198

(主催) 日野市
(協力) 鈴の会（認知症家族会）、若年性認知症家族会「芽吹き」、(公財)精神・神経科学振興財団、ひのケアマネ協議会、市内グループホーム、市内小規模多機能ホーム、市内認知症対応型デイサービス事業所、NPO法人 愛隣舎、日野市社会福祉協議会、日野市福祉士会、(医社)英世会、(医社)康明会
(後援) 日野市医師会、日野市歯科医師会

2. 第2回市民啓発講座ちらし

1月23日(土)
14:00~16:00
(13:30開場)

日野市東部会館 3F ホール
(石田1-11-1)

「何かがおかしい。」と気づき、
若年性認知症と診断されてからも
ご自分で人生を歩んでこられたご本人と、
その本人の変化に寄り添う周りの人達。
「自分らしく生きる」ということを考えます。

講師

丹野智文氏(おれんじドア実行委員会代表)
井上博文氏(おれんじドア実行委員会事務局)
芽吹き会のみなさん
(日野市若年性認知症当事者と家族の集い)

内容

第一部 丹野智文氏による基調講演
第二部 シンポジウム

参加費

無料

定員

150人
※申込制・先着順のため定員になり次第、締切ります。

申込

1/15(金)までに電話もしくはメール、FAXで「1/23
講演会、氏名、電話番号」を明記の上、申込。



※公共交通機関でご来場ください。

【問い合わせ】日野市社会福祉協議会 高幡事務所
TEL. 591-1567 FAX. 591-1573 メール sanka005@hinosuke.org

共催 日野市社会福祉協議会(在宅高齢者ケアサービス、権利擁護センター日野)、日野市、芽吹きの会

「若年性認知症と
言われた日から」



NHKスペシャル
「シリーズ認知症革命」、
テレビ東京「ガイアの夜
明け」のほか、全国での
講演会など出演多数

講師

丹野智文(たんのともふみ)氏

41歳宮城県在住。2人の娘の父。
39歳でアルツハイマー型認知症の診断を受け
る。営業職から事務職に変わり、勤務時間を
短縮しながら、会社勤めを続けている。
現在、認知症本人のためのもの忘れ総合相談
「おれんじドア実行委員会」代表

(6) 認知症サポーター養成講座 開催状況詳細

	実施日	対象	対象者詳細	受講者数	メイト	
					包括名	担当者
1	H27.5.28	住民	一般市民	8	すずらん	相馬、廣川
2	H27.4.14	住民	新坂下住宅住民	23	せせらぎ	唐沢、一ノ瀬
3	H27.4.16	住民	サークル「この指と一まれ」	9	いきいきタウン	川田
4	H27.4.2	住民	ラベンダー	9	すてっぷ	佐藤、藤井
5	H27.4.22	企業・職域団体	介護予防センター 早稲田イーライフ・多摩整骨院	26	すてっぷ	落合
6	H27.5.12	住民	地域住民	14	せせらぎ	片伯部、一ノ瀬
7	H27.4.24	企業・職域団体	デイサービス平山	12	かわきた	小林、鍵本
8	H27.5.20	企業・職域団体	南観光交通(株)	16	もぐさ	鈴木、鍵本
9	H27.5.20	企業・職域団体	南観光交通(株)	38	もぐさ	小堀、小林
10	H27.5.21	企業・職域団体	南観光交通(株)	15	あさかわ	竹内、西村
11	H27.5.21	企業・職域団体	南観光交通(株)	33	あさかわ	堀田、西村
12	H27.5.25	企業・職域団体	株式会社 高幡ホーム	13	あさかわ	堀田、西村
13	H27.6.4	住民	高齢者サークル「ピンコロクラブ」	14	せせらぎ	片伯部、一ノ瀬
14	H27.6.5	企業・職域団体	康明会病院職員	40	かわきた	菅原
15	H27.6.9	企業・職域団体	日野郵便局	54	多摩川苑	磯野、川田・浅見
16	H27.6.11	企業・職域団体	中央リハビリテーション エポルプ・たから薬局	7	あさかわ	西村、竹内
17	H27.6.18	企業・職域団体	日野郵便局	36	あいりん	鳥飼、高瀬
18	H27.6.19	住民	高幡台団地気かけ運動「手と手の会」メンバーと高幡台団地住民	22	もぐさ	鈴木、小林
19	H27.6.20	企業・職域団体	日野郵便局	17	もぐさ	鈴木、小林
20	H27.6.16	企業・職域団体	日野郵便局	42	かわきた	菅原
21	H27.6.22	企業・職域団体	ショートステイかわせみ	6	かわきた	菅原
22	H27.6.29	公募	一般公募	24	せせらぎ	唐沢、一ノ瀬
23	H27.7.15	企業・職域団体	多摩あんしん館職員	44	あいりん	樋口、鳥飼
24	H27.6.26	企業・職域団体	多摩あんしん館職員	10	すてっぷ	落合、筒井

	実施日	対象	対象者詳細	受講者数	メイト	
					包括名	担当者
25	H27.7.6	住民	民生・児童委員 高齢福祉部会	16	せせらぎ	唐沢、一ノ瀬
26	H27.7.30	公募	公募	3	かわきた	菅原、鍵本
27	H27.7.29	企業・職域団体	康明会ホームケアクリニック・予防リハビリ・訪問リハビリ	14	かわきた	菅原
28	H27.7.22	住民	地域住民(たましん平山店の依頼)	8	いきいきタウン	川田
29	H27.7.28	企業・職域団体	みずほ銀行 日野支店	24	すてっぷ	木村、藤井
30	H27.8.11	企業・職域団体	みずほ銀行 高幡不動支店	16	あさかわ	堀田、竹内
31	H27.8.3	学校	実践女子大学	5	あいりん	鳥飼、高瀬
32	H27.9.10	企業・職域団体	やさしい手	24	すずらん	相馬、廣川
33	H27.8.27	住民	一般市民	2	すずらん	相馬、廣川
34	H27.9.8	企業・職域団体	デイサービスきりん職員	15	あいりん	樋口、多和田
35	H27.9.4	企業・職域団体	医療法人社団 康明会病院	33	すてっぷ	佐藤、筒井
36	H27.10.6	企業・職域団体	ゆざわここからネット	16	もぐさ	辻澤、小堀
37	H27.10.25	企業・職域団体	めぐみ教会	8	もぐさ	鈴木、小林
38	H27.8.31	企業・職域団体	デイサービスセンター風のガーデン	9	あさかわ	西村、竹内
39	H27.9.1	公募	一般公募	5	かわきた	菅原
40	H27.9.13	公募	一般公募	109	せせらぎ・多摩川苑	唐沢、一ノ瀬
41	H27.10.8	企業・職域団体	日野警察署	49	多摩川苑	坂本、磯野
42	H27.9.26	住民	多摩平住民	2	あいりん	鳥飼
43	H27.10.15	企業・職域団体	ニック株式会社	5	すてっぷ	筒井、木村
44	H27.9.30	企業・職域団体	リハビリステーションLETs倶楽部日野	7	すてっぷ	藤井、木村
45	H27.10.11	住民	都営1丁目アパート睦会	18	すてっぷ	佐藤、筒井
46	H27.10.31	住民	マザアス日野 介護の日	9	多摩川苑	磯野、坂本
47	H27.10.6	企業・職域団体	日野警察署	46	あさかわ	堀田、竹内
48	H27.10.22	住民	一般住民	15	すずらん	相馬、廣川
49	H27.10.5	企業・職域団体	日野警察署	60	あいりん	樋口、鳥飼
50	H28.11.4	学校	日野台高校	38	あいりん	樋口、鳥飼、高瀬

	実施日	対象	対象者詳細	受講者数	メイト	
					包括名	担当者
51	H27.11.2	学校	日野台高校2年1組	41	あいりん	樋口、鳥飼、高瀬
52	H27.11.4	学校	日野台高校2年4組	38	あいりん	樋口、鳥飼、高瀬
53	H27.11.18	企業・職域団体	日野環境保全	48	多摩川苑	浅見、坂本
54	H27.11.16	住民	多摩平の森受海	36	あいりん・すてっぷ	高瀬、木村
55	H27.10.28	企業・職域団体	GEヘルスケア・ジャパン	33	かわきた・すてっぷ・あいりん	菅原、小林、鍵本、落合、樋口
56	H27.11.4	企業・職域団体	トムスポーツ職員	14	かわきた	鍵本、小林
57	H27.11.20	企業・職域団体	ニチイホーム高幡不動産職員・一般市民	19	あさかわ・かわきた	堀田、小林
58	H27.11.1	住民	豊田第三・第四自治会員	31	すてっぷ	落合
59	H27.11.11	企業・職域団体	大東京信用組合	7	せせらぎ	唐沢、一ノ瀬
60	H27.12.7	住民	地域住民	8	すずらん	相馬・廣川
61	H27.11.18	住民	「トマトの会」	13	いきいきタウン	川田
62	H27.11.14	住民	東神明地区 小中学校PTA有志	6	せせらぎ	片伯部、一ノ瀬
63	H27.12.3	企業・職域団体	ワタミタクシヨク日野	8	すずらん	相馬、廣川
64	H27.12.8	企業・職域団体	やさしい手職員	12	あいりん	樋口、鳥飼、高瀬
65	H27.12.8	企業・職域団体	やさしい手職員	19	あいりん	樋口、鳥飼、高瀬
66	H27.12.17	学校	明星大学人文学部福祉実践学科	48	すずらん・もぐさ	相馬、辻澤
67	H28.1.16	住民	老人会 茶の間の会	47	すずらん	相馬
68	H27.12.11	学校	日野市立第一中学校・第一学年	12	せせらぎ	片伯部、一ノ瀬
69	H27.12.11	学校	日野市立第一中学校・第一学年	11	せせらぎ	片伯部、一ノ瀬
70	H27.12.10	住民	滝合木の実会(老人会)	17	かわきた	菅原
71	H27.12.15	企業・職域団体	なごみ在宅介護サービス日野	6	せせらぎ	唐沢、一ノ瀬
72	H27.12.28	住民	近隣住民	11	すてっぷ	佐藤、木村
73	H28.1.26	企業・職域団体	デイサービス ツクイ日野	12	多摩川苑	磯野、坂本
74	H28.1.18	行政関係	日野市役所職員職員	18	すずらん	相馬、長島
75	H28.1.18	行政関係	日野市役所職員	12	あさかわ	堀田、西村

	実施日	対象	対象者詳細	受講者数	メイト	
					包括名	担当者
76	H28.2.2	学校	日野市立三沢中学校1年生と 教員	244	あさかわ	堀田、竹内、 西村、鈴木
77	H28.1.27	学校	実践女子大学学生(3.4年生)	43	あいりん	樋口、鳥飼
78	H28.2.24	住民	地域住民	8	すずらん	廣川、長島
79	H28.1.14	住民	一般公募	12	かわきた	菅原
80	H28.2.2	住民	地域住民(東平山)	5	いきいきタウン	川田
81	H28.2.16	住民	ヘルパーステーションふれんど ／高幡みさわの社	20	もぐさ	鈴木、小林
82	H28.2.24	企業・職域 団体	百草団地商店街/百草団地自 治会	17	もぐさ	鈴木、小林
83	H28.2.10	企業・職域 団体	(非営)一穂会(介護事業所)	18	あいりん	高瀬
84	H28.2.14	住民	多摩平5丁目自治会住民	14	あいりん	樋口、鳥飼
85	H28.2.18	住民	大坂上中地区育成会	32	あいりん	樋口、鳥飼
86	H28.3.9	学校	七生中学校3年生	158	すずらん	相馬、長島
87	H28.2.17	住民	カフェ平山苑	16	いきいきタウン	川田
88	H28.2.12	企業・職域 団体	傾聴ボランティア向け認知症サ ポーター養成講座	25	せせらぎ	唐沢、一ノ瀬
89	H28.2.25	企業・職域 団体	シルバーピア管理人	13	せせらぎ・多 摩川苑	唐沢、磯野
90	H28.3.16	住民	公募	65	すてっふ	佐藤、筒井
91	H28.2.27	住民	グリーンコープ自治会	11	せせらぎ	唐沢、一ノ瀬
92	H28.3.7	住民	浅川苑のボランティア	14	あさかわ	堀田、鈴木
93	H28.3.30	企業・職域 団体	ヘルパーステーションふれんど	6	もぐさ	小堀、辻澤
94	H28.2.23	住民	地域グループ サンフラワー	27	あいりん	吉山、樋口
95	H28.10.7	企業・職域 団体	日野警察	40	すずらん	相馬、廣川
計		開催回数	95回	受講者数		2,403人

【キャラバン・メイト名簿】

平成 28年3月現在、日野市におけるキャラバン・メイト（認知症サポーター養成講座の講師役）は、38名となっています。

	受講年度	所属機関	氏名
1	18	地域包括支援センターすてっぴ	落合 恵子
2	18	地域包括支援センターせせらぎ	片伯部 純子
3	18	地域包括支援センターいきいきタウン	川田 利子
4	19	地域包括支援センターもぐさ	鈴木 織子
5	19	地域包括支援センターあいりん	高瀬 和枝
6	19	リハビリデイきりん	多和田 圭祐
7	20	地域包括支援センターすずらん	廣川 理恵子
8	20	地域包括支援センターいきいきタウン	中山 正夫
9	21	地域包括支援センターあさかわ	堀田 志保子
10	21	地域包括支援センターかわきた	菅原 拓
11	21	地域包括支援センターかわきた	小林 尚子
12	21	地域包括支援センターせせらぎ	飯沼 一将
13	21	地域包括支援センターせせらぎ	唐沢 淳子
14	22	地域包括支援センターもぐさ	小堀 千枝子
15	22	地域包括支援センターすずらん	相馬 みゆき
16	23	地域包括支援センターすてっぴ	木村 名津季
17	23	地域包括支援センターあさかわ	竹内 淳子
18	23	地域包括支援センターもぐさ	辻澤 美由紀
19	23	地域包括支援センターすてっぴ	佐藤 淳子
20	23	居宅介護支援事業所ふれあい	市川 るみ子
21	24	地域包括支援センターすずらん	良岡 千春
22	24	地域包括支援センター多摩川苑	浅見 ゆかり
23	24	地域包括支援センターかわきた	鍵本 博子
24	24	地域包括支援センターあいりん	輪田 博美
25	24	地域包括支援センターあいりん	樋口 ゆかり
26	25	地域包括支援センター多摩川苑	磯野 悠子
27	25	地域包括支援センターあさかわ	西村 サオリ
28	25	地域包括支援センター多摩川苑	川田 麻姫
29	25	地域包括支援センターすてっぴ	藤井 美樹子
30	26	地域包括支援センターあいりん	鳥飼 梓
31	26	地域包括支援センターもぐさ	小林 雅尚
32	26	地域包括支援センターせせらぎ	一ノ瀬 剛
33	26	地域包括支援センター多摩川苑	坂本 光徳
34	26	地域包括支援センターすてっぴ	筒井 順子
35	27	地域包括支援センターすずらん	長島 摩弥
36	27	地域包括支援センター多摩川苑	谷野 かおり
37	27	地域包括支援センターあさかわ	鈴木 昌徳
38	27	地域包括支援センターいきいきタウン	林 雄一郎

平成 27 年度認知症高齢者支援（高齢者虐待防止対策）事業
実施報告書

発行年月 平成 28（2016）年 3 月

企 画 日野市健康福祉部高齢福祉課
〒191-8686 東京都日野市神明一丁目 12 番地の 1
電話 042-585-1111（代表）

企画協力 株式会社 地域計画連合
〒170-0004 東京都豊島区北大塚二丁目 24 番地の 5
電話 03-5974-2021